



International Exchange Center
Shimonoseki City University

The Trajectory

Vol.4





国際交流センターとは

Gloculii up for GHR

下関市立大学から海外へ

-協定校の紹介

-留学体験レポート 下関市立大学から海外へ

海外から下関市立大学へ

-外国人留学生サポート

-留学体験レポート 海外から下関市立大学へ

INPaCS



交流プログラム

異文化理解プログラム

2024 年度報告

在籍留学生数

海外留学等の体験者数

International Exchange Center

下関市立大学国際交流センターは、2020 年 7 月に事務局の一部署から独立した新たな体制に生まれ変わり、国際交流に専門性のある教員や日本語教員と職員が教職協働を体現しています。

三方を海で囲まれ、古くから人的、物的交流の結節点として多様な国際関係を形成してきた下関市に位置する下関市立大学は、「東アジアを中心に広く世界に目を向けた教育と研究」を理念に掲げ、グローバル人材の育成に力を入れ、中国・台湾・韓国・アメリカ・トルコ・ドイツ・フランス・オーストラリア・キルギスに位置する 19 の大学と交流協定を締結し、学生の交流等を促進しています。

グローバル化が進展する社会を担うために、社会にはばたく直前の教育機関である大学には、グローバル人材を輩出することが期待されています。社会人基礎力の 3 つの力「前に踏み出す力」「考え抜く力」「チームで働く力」に加え、グローバルな多様性社会の中でそれぞれに違いがあることを学び、互いの強みを引き出して、回答の無い問題に柔軟に対応する力を持つ若者、地域性の理解とグローバルな視点を併せ持つ若者が、これからの時代には必要です。

下関市立大学国際交流センターでは、海外との国際交流「Gloculii up for GHR (Global exchange, Cultural immersion and international understanding program for Global Human Resource)」とキャンパスでの国際交流「INPaCS(International Nexus Program at Campus of SCU)」、そして地域との国際交流の相互作用が若者のキャリアへと繋がり、グローバル社会で活躍する若者の育成に着目した取組みを推進しています。

Gloculii up for GHR

Global exchange, Cultural immersion and international understanding program for Global Human Resource

01 下関市立大学から海外へ

下関市立大学に入学した日からキャンパス内でグローバル体験が始まります。学内で行われる国際交流イベントやプログラムに参加することで、キャンパス内から異文化体験と理解が始まります。学生はキャンパスでの経験を経て海外に旅立ちます。短期的な海外留学体験プログラムである外国研修、各国にある協定校へ 1 学期間～1 年間留学し、英語、中国語、韓国語で大学の授業を受講する派遣留学プログラムも有ります。派遣留学期間も下関市立大学の在籍期間に含まれますので 4 年間での卒業が可能です。

その他にも本学を休学して、大学等へ留学し単位互換をすることができる「単位認定私費留学」プログラムもあります。

下関市立大学から海外へ飛び立つ多様な方法を整え、サポートしています。

02 海外から下関市立大学へ

インターネット出願で受験が可能になった下関市立大学では、日本国外から直接受験して入学してくる留学生数が増加しています。また、協定校から派遣される特別聴講学生もいます。

新入学または新たに来日する留学生のためには留学生チューター制度によるサポート、奨学金や授業料減免などによる経済的サポートもあります。

また、留学生は第一外国語として日本語を履修し、修学や研究、就職に必要な学術的な日本語指導を受けることができます。日本文化の神髄を知ろう!!や地域交流プログラム等で日本文化を実際に体験し、理解する機会も提供しています。

入学から就職までの支援を受けることができる体制を整えています。

協定校

下関市立大学には、3つの理念と目的があります。その中の一つに「東アジアを中心に広く世界に目を向けた教育と研究」があります。下関市立大学では下関からアジア、さらには世界へと目を向けることで、現在の国際関係がどのような構造を持っているか、また、それがどのようにして作られてきたかを理解できる教育を行っています。教職員と学生が一体となり、世界へ広がるネットワークを形成しています。

この理念に基づき、本学には世界各国に協定校があります。2025年3月現在、オーストラリアに1校、中国に3校、フランスに1校、ドイツに1校、キルギスに1校、台湾に2校、韓国に5校、トルコに1校、アメリカに4校の合計19校の協定校があります。これらの協定校との交流は、学術交流や学生間交流等様々ですが、相互に交流を深めています。



①	オーストラリア	グリフィス大学 グリフィス大学附属英語学校	ブリスベン ゴールドコースト
②	中国	北京大学 青島大学 上海師範大学	北京特別市 青島市 上海市
③	フランス	ボルドー・モンテーニュ大学	ボルドー
④	ドイツ	ルートヴィヒスハーフェン経済大学	ルートヴィヒスハーフェン
⑤	キルギス	キルギス国立農業大学	ビシュケク
⑥	台湾	銘傳大学 国立聯合大学	桃園市 苗栗市
⑦	韓国	東義大学校 木浦大学校 釜山外国語大学校 又松大学校 ハンシン大学校	釜山広域市 務安郡 釜山広域市 大田市 ソウル特別市
⑧	トルコ	ボアジチ大学	イスタンブール
⑨	アメリカ	ロス・メダノス・カレッジ ディアブロ・バレー・カレッジ コントラ・コスタ・カレッジ サンフランシスコ州立大学	ピッツバーグ プレザントヒル サンパブロ サンフランシスコ

派遣留学

派遣留学とは、1 学期間～1 年間、本学に在籍したまま海外の協定校に留学することです。留学期間は 4 年間の修業年限に含まれます。また、派遣先大学で修得した単位は、帰国後所定の手続きを経て本学の授業科目に単位認定されます。

授業料は、原則下関市立大学に納入することになりますが、派遣先大学に授業料を納付する場合があります。その場合は所定の手続きを経て本学の授業料が免除されます。

なお、派遣留学申請をするためには、必要な資格や語学レベル等の条件があります。募集期間や派遣人数、試験内容、必要資格等は以下のとおりです。

詳細については、国際交流センターへお問い合わせください。

1. 第 I 期派遣学生

- (1) 募集期間 10 月 1 日～11 月 20 日
- (2) 派遣先協定校 表 1 参照
- (3) 選抜試験の時期 11 月 20 日～12 月上旬(面接試験)
- (4) 派遣学生の決定 12 月第 4 週頃

表 1

国名	アメリカ	トルコ	ドイツ	フランス	中 国		台 湾
大学名	サンフランシスコ州立大学 ロス・メダノス・カレッジ ディアブロ・バレー・カレッジ コントラ・コスタ・カレッジ	ボアジチ大学	ルートヴィヒスハー フェン経済大学	ボルドー・モンテ ーニュ大学	北京大学	青島大学	銘傳大学
派遣期間	8 月～翌年 7 月	9 月～翌年 8 月			9 月～翌年 8 月		
	※1 学期間（1 セメスター）のみの申請も可能ですが、1 年間を希望する学生が優先になります						
募集人数	4 名	2 名	2 名	5 名	2 名	2 名	3 名
選抜試験	面接試験				面接試験		
必要資格 ※1	TOEFLiBT61 点 IELTS5.5 点	TOEFLiBT79 点 IELTS 6.5 点	TOEFLiBT70 点 TOEIC 650 点 IELTS 5.5 点	CEFR B2 (フランス語)	中国語検 3 級 HSK4 級	中国語検 4 級 HSK3 級	中国語検 4 級 HSK3 級
授業料 納入先	CCCCD の大学 (下関市立大学の 授業料は免除)	下関市立大学			北京大学 (下関市立大学の 授業料は免除)	下関市立大学	

※1 選抜試験までに語学力を証明できる検定を受検していることは必須ですが、スコアは、選抜試験時に到達していなくても申込みが可能です。（派遣先大学への留学申請までには必要スコアに達している必要があります。）

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
事前準備	申込み		学内選考	派遣決定		留学申請			留学開始			
中国語検定や HSK、TOEFLiBT IELTS など、各種資格を取得	申請書、応募理由書、自己推薦書、成績証明書、資格証明書を準備		面接試験など	履修計画、出発前説明会、保険加入など			中国語圏 英語圏					

2. 第Ⅱ期派遣学生

- (1) 募集期間 4月1日～5月20日
- (2) 派遣先協定校 表2参照
- (3) 選抜試験の時期 5月20日～6月上旬(面接試験・筆記試験)
- (4) 派遣学生の決定 6月第4週頃

表2

国名	韓 国					オーストラリア	
大学名	東義大学校	木浦大学校	釜山外国語 大学校	ハンシン大学校	又松大学校	グリフィス大学	グリフィス大学附属 英語学校(GELI)
派遣期 間	3月～翌年2月				3月～翌年2月	2月～翌年1 月	2月～7月
	※1 学期間（1 セメスター）のみの申請も可能ですが、1 年間を希望する学生が優先になります						1 学期間 (1 セメスター)
募集人 数	2 名	2 名	2 名	5 名	2 名	2 名	
選抜試 験	面接試験				面接試験		
必要資 格 ※1	TOPIK やハングル検定など いずれかを受験していることが望ましい				TOEFLiBT59 点 IELTS 5.5 点	TOEFLiBT71 点 IELTS 6.0 点	英検、 TOEFLiBT、 TOEIC IELTS いずれかの受験結果
授業料 納入先	下関市立大学				下関市立大学	グリフィス大学 (下関市立大学の 授業料は免除)	GELI (下関市立大学の 授業料は免除)

- ※1 選抜試験までに語学力を証明できる検定を受験していることは必須ですが、スコアについては、選抜試験時に到達していなくても申込みが可能です。（派遣までに語学力向上に努めてもらいます。）
- ※2 韓国の4大学については、選抜試験及び派遣の際に語学力の証明は必須ではありませんが、派遣先での履修の際に証明となる資格を取得しておくことが望ましいです。
- ※3 又松大学校は韓国にある大学ですが、英語で留学する協定校です。詳細は、国際交流センターにお問い合わせください。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
事前準備 ハングル検定や TOPIK、 TOEFLiBT、 IELTS など 各種資格を 取得	申込み 申請書、応募理由 書、自己推薦書、 成績証明書、資格 証明書を準備		学内選考 面接試験 など		派遣決定		留学申請 履修計画、出発前説 明会、保険加入など				留学開始	

外国研修

外国研修とは、長期(夏・春)休業中に2～5週間、海外の協定校で行う語学研修です。外国研修では、語学研修だけでなく様々な文化体験や交流行事が予定されています。

外国研修（英語）は、アメリカ、オーストラリアなどで3～5週間、外国研修（中国語）は、中国や台湾で2～3週、外国研修（韓国語）は、韓国で2～3週間実施します。

外国研修は正規の授業科目で、単位認定(2単位)されます。

この単位は、学期ごとの履修制限単位数の制限外です。

過去の記録

	2024 年度			2023 年度		
	受入機関	国/地域名	人数	受入機関	国/地域名	人数
英 語	グリフィス大学附属 英語学校 GELI	オースト リア	10 名	グリフィス大学附属 英語学校 GELI	オースト リア	12 名
中国語	青島大学	中 国	16 名	非開講	—	—
韓国語	ハンシン大学校	韓 国	15 名	東義大学校	韓 国	18 名
合 計	41 名			30 名		

※2020～2022 年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響のため非開講でした。

私費留学

海外の大学や語学学校などへ個人的に留学をすることができます。留学先は、本学の協定校や附属の語学学校、その他の大学や大学附属の語学学校、語学専門学校など選択肢は様々です。

また、本学を休学して、海外の大学や短期大学などに私費で留学する単位認定私費留学制度もあります。

単位認定私費留学とは

外国の大学又は短期大学等で単位認定を目的として学修します。

単位認定を目的とする私費留学を希望する場合には、留学開始前に国際交流センターで所定の手続きを行い、承認を受けなければなりません。

帰国後に単位認定申請を行うことで下関市立大学の修得単位に認定されます。



グリフィス大学

オーストラリア・ブリスベン



概 要

グリフィス大学は、1971 年に創立され、これまでに多様な研究分野を展開し、多くの卒業生を輩出してきました。130,000 人以上の卒業生は、現在も国内外の各分野で活躍しています。

グリフィス大学はクイーンズランド州の州都ブリスベンと、観光都市として有名なゴールドコーストにキャンパスをもつ総合大学です。留学生を 1988 年に初めて受け入れ、現在は、約 130 ヶ国から集まった約 9,000 人の留学生が在籍しています。また、オーストラリアで初めて環境学、アジア研究を取り入れたほか、芸術、医学、スポーツ科学、教育、ホスピタリティ、観光学、ビジネス、国際関係など、伝統的な専門区分にとらわれない幅広い学問的なプログラムを提供しています。幅広い領域にわたる教育研究を行っているため、1 つの専門領域にだけに偏らない、複合した領域を学ぶチャンスに恵まれています。

学生数 約 40,000 人（内 留学生 約 9,000 人）

専攻

Business and Government
Criminology and Law
Education
Engineering and Information Technology
Environment, Planning and Architecture
Health
Humanities and Languages
Music
Science and Aviation
Visual and Creative Arts



キャンパス

Nathan Campus 170 Kessels Road Nathan, QLD
Mt. Gravatt Campus 176 Messines Ridge Road Mt Gravatt, QLD
South Bank Campus 226 Grey Street South Bank, QLD
Logan Campus 68 University Dr Meadowbrook, QLD
Gold Coast Campus Parklands Drive, Southport, QLD

Homepage : <https://www.griffith.edu.au/>

北京大学

中国・北京市



概要

北京大学は 1898 年に創設された中国初めての国立総合大学です。現在は、多様な部門の教育と研究の中心になる新しいタイプの教育機関になっています。その前身は清朝末に設置された京師大学堂で、辛亥革命の翌年である 1912 年に北京大学と改称し、1952 年に現在の敷地に校舎を移しました。以降今日に至るまで中国の最高学府としての地位を内外に誇っています。

北京大学は、社会主義の近代化を追求するために専門的な知識と技術、そしてレベルの高い人材育成と科学の重要なテーマについての研究を連携させています。この連携は教育と研究の向上だけでなく、様々な分野の促進と相互作用を追求しています。

1950 年代に外国人留学生の受入れを開始し、中国語教育にも力を入れています。北京大学は、大学や研究機関、ハイテク企業が多く集まり、中国のシリコンバレーとも呼ばれる中関村に位置します。北京の名所の圓明園や映画「西太后」の舞台となった頤和園も周辺にあり、落ち着いた環境の中で学習することができます。

学生数 約 30,000 人

学部

〈理学部〉

数理科学学院、物理学院、化学分子工学院、ライフサイエンス学院、都市環境科学院、地球および宇宙科学院、心理・認知科学院、建築・景観設計学院、情報科学及び工学部、電子工学科コンピューターサイエンス学院、工学院、コンピューター科学技術研究所、環境理工学院、ソフトウェア＆マイクロエレクトロニクス学院、国立ソフトウェア工学研究センター

〈人文学部〉

中国語文学院、歴史学院、考古学院、哲学および宗教学院、外国語学院、芸術学院、第二言語として学ぶ中国語学院、歌劇研究協会

〈社会科学部〉

国際関係学院、法学院、情報管理学院、社会学院、政府管理学院、マルクス主義学院、大学院教育学研究学院、ジャーナリズム・コミュニケーション学院、体育教研学院、ニュースおよびメディア学院

〈経済管理学部〉

経済学院、光華経営学院、人口研究所、国家発展研究院、

〈医学部〉

基礎医学院、薬学院、公衆衛生学院、看護学院、医学人文科学研究所/基礎教育学部健康科学センター、継続医学教育学院、附属病院（8 病院）

キャンパス

本部キャンパス 北京市海淀区頤和園路 5 号
海淀キャンパス 北京市海淀区学院路 3 8 号
昌平キャンパス 北京市昌平区十三陵鎮西山口村
大興キャンパス 北京市大興工業開発区金苑路 2 4 号
無錫キャンパス 江蘇省無錫市濱湖区大学城状元道 5 号
深圳キャンパス 広東省深圳市南山区西麗鎮水路 2 1 9 9 号



Homepage : <https://english.pku.edu.cn/>



青島大学

中国・青島市



沿革

青島大学の歴史を遡ると、二つの源に辿り着きます。

一つは 1909 年に創立された青島特別高等専門学堂です。歴史の変遷に従い、その医学教育が異色を放ち、青島医学
校、青島医科大学、青島医学専門学校と校名が変わる時期がありました。

もう一つは 1924 年に創建された私立青島大学です。その後国立青島大学、国立山東大学と呼ばれる時期がありました。

1946 年、国立青島大学は青島医学専門学校と合併し、医学院を設置しました。1956 年、医学院は山東大学から独立し、
青島医学院となりました。1958 年に山東大学は済南に移り、1985 年青島大学は再度創立されました。

1950 年に創立された青島紡織技術学校は青島紡織専門学校、山東省紡織工業学校

などの時期を経て、1978 年に山東紡織工学院と改名されました。

1951 年に創立された青島教師研修学院は青島師範学校などの時期を経て、1981 年に青島師範専門学校に改名され
ました。

1993 年、その同時の青島大学、青島医学院、山東紡織工学院と青島師範専門学校の四校は合併して、今の青島大学と
なりました。

学生数 約 46,000 人（内 大学院生 9,800 人、留学生 1,600 人）

学 院

〈理学 工学〉

材料科学と工程学院、電子情報学院、紡織服装学院、化学化工学院、環境科学と工程学院、機電工程学院、
コンピュータサイエンステクノロジー学院、生命科学学院、データ科学とソフトウェア工程学院、数学と統計学院、
物理科学学院、応用技術学院、自動化と電気工程学院

〈人文学 社会学〉

公共外国語教育学院、国際教育学院、法学院、経済学院、観光と地理科学学院、マルクス主義学院、美術学院、
商学院、師範学院、教師教育学院、体育学院、文学院、外国語学院、マスメディア学院、音楽学院、
哲学と歴史学院、政治と公共管理学院

〈医学〉

公共衛生学院、看護学院、基礎医学院、口腔医学院、薬学院、附属病院、
附属心臓血管病医院

キャンパス

浮山キャンパス（本部キャンパス）	青島市寧夏路 308 号
金家嶺キャンパス（イーストキャンパス）	青島市嶗山区科大支路 62 号
松山キャンパス（ウェストキャンパス）	青島市北区登州路 38 号

Homepage : <https://www.qdu.edu.cn/>





上海師範大学

中国・上海市



概要

上海師範大学は上海市市内に位置する公立大学です。1954 年に創立し、哲学、経済学、法学、教育学、文学、歴史学、理学、工学、管理学、農学、芸術学などの 11 の学問分野があり、22 の学院が設置されています。学部生 2 万人以上、大学院生は 1 万人以上、留学生は 800 人以上在籍しています。

沿革

1954 年設立の「上海師範専科学校」が前身ですが、分割、再統合の後、1958 年に「上海師範学院」に改称しました。1978 年までに華東師範学院など 5 つの大学と合併して「上海師範大学」になりました。1994 年に上海技術師範学院、2003 年までに上海師範高等専科学校、南林師範学校黄陵衛生保健師範学部、上海行知芸術師範学校、上海観光高等専科学校とさらに合併し、現在の上海師範大学の規模になりました。

学生数 約 20,000 人（内留学生 800 人）

対外漢語学院

対外国人留学生の中国語教育機関として、1965 年から留学生の受け入れを始め、上海市内で最も早く留学生に対する中国語教育を展開した大学です。現在 450 名余りの留学生が在籍しています。対外漢語学院は上海師範大学の「徐匯」（地名）キャンパスにあり、上海市の中心部の「徐家匯」から近くて、交通が便利で、キャンパスも自然豊かです。対外漢語学院は教育施設も完備され、住環境もよく、学生にとっては理想的な場所となっています。

留学生宿舍数

外賓楼、学術文化交流中心、教育国際交流中心の 3 棟があり、1 人部屋と 2 人部屋が用意されています。

Homepage : <https://www.qdu.edu.cn/>



ボルドー・モンテーニュ大学

フランス・ペサック

概 要

ボルドー・モンテーニュ大学は、フランスのサベックにある国立大学で、メインキャンパスはボルドー市中心部から約 8 キロ南西に位置しています。芸術、言語学、経営学、人文科学の分野を中心に、学士、専門学士、修士、博士の学位を提供し、これらの分野全てで重要な研究を行なっています。

沿 革

ボルドー市およびその周辺の公立大学の再編成が行われた 1970 年に設立され、設立後 20 年間、ボルドー 3 大学 (Université Bordeaux 3) として知られていました。1990 年に当時のヌーヴェル＝アキテーヌ地域出身の哲学者ミシェル・ド・モンテーニュにちなんでミシェル・ド・モンテーニュ ボルドー大学 3 (Université Michel de Montaigne Bordeaux 3) になりました。2014 年、ボルドー 3 大学全体が統合され、ボルドー・モンテーニュ大学 (Université Bordeaux Montaigne) と名前が簡素化され、2020 年に創立 50 周年を迎えました。

学生数 約 15,000 人 (留学生数 約 1,200 人)

専 攻

国際関係、フランス語教育センター、国土開発学科、都市計画学科、文学学科、言語学科、美術史学科、考古学学科、情報・コミュニケーション科学、外国語学部、法学部等
モンテーニュ・ヒューマニティーズ博士院

キャンパス

19 Esplanade des Antilles F-33607 Pessac Cedex

Homepage : <https://www.u-bordeaux-montaigne.fr/fr/index.html>



概 要

1965 年に設立されたルートヴィヒスハーフェン経済大学は、ビジネス系の学術分野において、質の高い教育および研究に定評のある大学です。教学面での国際化にも非常に力を入れていて、海外でも高い評価を受けています。

2014 年に本学との協定を締結した東アジアセンターは、1988 年に設立され、経営学と日本学（または中国学）という二つの学科を、一つの専門コースとして組み合わせ、同時に学ぶことができるようになりました。約 180 人の学生は卒業時に日本または中国事情に詳しい「経営学士」の資格を得ることができますが、経営学士の資格を得る条件として、最低 1 年間の日本、または中国への留学を義務付けられています。

沿 革

1988 年－ラインラント・プファルツ州立大学 ルートヴィヒスハーフェン校にモデル校として試験的に「東アジアマーケティング学科」を設立

1992 年－日本科を増設

1994 年－第一期生 経営学士（Diplom-Betriebswirt FH）として卒業

1997 年－現在の建物に入居「東アジアセンター」と名称の変更

2004 年－卒業資格を Diplom から Bachelor に変更

2008 年－中部・東ヨーロッパセンター(MOI)増設、設立 20 周年

学生数 約 4,500 人 （内 留学生 約 100 人）

学 部 4 学部

Department of Management, Controlling, Healthcare（管理、管理会計、医療介護学部）

Department of Marketing and Human Resource Management（マーケティング、人的資源管理学部）

Department of Services and Consulting（サービス、コンサルティング学部）

Department of Social Work and Health Care（福祉、保健医療学部）

キャンパス

Ernst-Boehe-Str. 4 67059 Ludwigshafen am Rhein Germany

Homepage : <https://www.hwg-lu.de/en>



キルギス国立農業大学

キルギス・ビシュケク



概要

キルギス国立農業大学（KNAU）は、1933年に設立されたキルギスで最も古い大学の一つです。KNAUはキルギス共和国で唯一の農業大学であり、教育、科学、産業の複合施設を持ち、研究を行っています。2023年、KNAUは特別な地位を獲得し、国際的な機関認証に合格しました。

KNAUは、学士、大学院（修士）、大学院（博士）の3つのレベルの教育を行っており、7,000人以上の学生（1つの専門課程、23の学士課程、17の修士課程）の教育を行っています。教育プロセスには、26人の教授と92人の科学者候補を含む267人の専任教員が関わっています。KNAUの主な使命は、農業をはじめとする共和国経済における食品・生物学的安全性の問題を解決できる有能な専門家を育成することです。学生、大学院生、教師の学術交流を通じて、国際的な教育・科学空間への参加を目指し、国際的な連携を展開し、能動的に活動しています。

KNAUは様々な国際的、国家的プロジェクトにおいて経験を積んできました。また、教育の質の向上、教育における新技術の応用、農業における情報システムの導入と応用、革新的な学問分野の開発、新しいカリキュラム、農業科学、獣医学、干拓、農学、水産養殖学などの分野における共同研究の実施など、新たなプロジェクトにも関心を寄せています。

学部等

教育課程は、6学部と1研究所によって提供されています。農学・林学部、工学・技術学部、干拓・生態学・土地管理学部、獣医学部、生産技術・生物資源学部、経済・経営学部、そして国際・遠隔教育研究所です。また、33の学科、4カレッジ（技術・経済カレッジ、農業カレッジ、トクモク農業カレッジ、S.Tursunov にちなんだビシュケク農業経済カレッジ）、職業中等教育、教育・実験農場があります。

学生数 7,000人以上

キャンパス

Kyrgyz Republic, Bishkek, 720005, 68, Mederova str.

Homepage : <https://knau.kg/en/home-2/>



銘傳大學

台灣・台北市



概要

銘傳大学の前身は 1957 年に設立された「銘傳女子商業専科学校」で、台湾で最も歴史ある女子商業専門学校です。1997 年に総合大学への昇格が認められ、現在では、修士課程、博士課程を併せ持つ男女共学の総合大学となっています。2010 年にアジア初の米国認証評価（MSCHE, Middle States Commission on Higher Education）取得大学となり、2012 年に 4 月にアメリカの Saginaw Michigan 州（サギノーバレー州立大学構内）にも分校を設立しました。銘傳大学は、「国家、並びに社会の発展を支える、責任感・倫理観・国際的視野・ビジネス感覚を備えた専門人材の育成」を教育の目標としています。創設者は台湾の経済発展にはビジネス人材が欠かせず、若い世代の教育が非常に重要になるという信念のもとに開学し、現学長も、創設者のこうした理念を受け継ぎ、「知識経済」時代と言われる今日に求められる優秀な人材の育成に力を注いでいます。現在までに 11 万人を超える卒業生を輩出しています。

学生数 約 20,000 人（内 大学院生 約 1700 人、留学生 約 2100 人）

学部

学部は、管理、マスコミ、デザイン、情報、観光、教育応用語文、健康、社会科学、法律、国際の 10 学部です。キャンパスは、台湾の台北・桃園・金門・馬祖、そして米国の Saginaw Michigan 州の 5 カ所にあり、学習支援を目的に、附属図書館・情報ネットワークセンター・総合教育センター・英語語学センター・中国語学文化センター・生涯教育センター・進路相談室・カウンセリング室・出版センター・教員育成センター・R & D センターなどが設立されています。

また、金融リサーチセンター・メディアリサーチセンター・中国情勢リサーチセンター・SME インキュベーションセンターの 4 つの研究部門も併せもっています。

1990 年に「応用日語組」がつけられ、1996 年に応用日本語学科が設立されました。修士課程もあります。日本人教員を含む常勤教員が充実しています。『銘傳日本語教育』という研究誌も刊行し、日本語教育に関するシンポジウムも毎年行っています。

キャンパス

Taipei Campus 250 Zhong Shan N. Rd., Sec. 5, Taipei

Taoyuan Campus 5 De Ming Rd., Gui Shan District, Taoyuan City

Jihe Campus 3F-8F, No.130, Jihe Rd., Shihlin District, Taipei City

Kinmen Campus 105 De Ming Rd., Jinsha Township, Kinmen County

Michigan Location Gilbertson Hall,

Saginaw Valley State University, 7400 Bay Road, Saginaw, MI

Homepage : <https://web2.mcu.edu.tw/en/>





国立聯合大学

台湾・苗栗市



概要

国立連合大学（NUU）は、1969年に国有大企業の共同出資によって設立された専門学校でした。1995年に国家連合工商大学校に改組され、1999年に国家連合工科大学校に改組されました。そして2003年に国立連合大学と改称しました。第一キャンパス（二坪山）と第二キャンパス（八甲）の2つのキャンパスから成り、その距離は約2.6キロ、総面積は77ヘクタールあります。

NUUは、インテリジェント・グリーン＆オレンジ・テクノロジー（i2GO テック）の統合を中長期的な発展の主軸としており、科学研究と産業連携を強化し、スマートで持続可能なキャンパスの確立を目指しています。大学の使命は、研究と学術の発展、人材の育成、文化の向上、社会への奉仕、国家の発展、人類の幸福と環境の持続可能性への貢献であると考えており、「誠実、尊敬、勤勉、創造性」という大学のモットーに基づき、革新的な教育、学際的な研究、産業界との協力、国際的な取り組みという4つの主要ビジョンを追求しています。取り組みとしては、i2GO テックの統合、教育の質の向上、研究能力の強化、社会的責任の遂行、全人的教育開発の促進、インフラの最適化、国際交流の促進、機関業績の向上にあります。目標は、献身的で革新的、社会的責任を果たし、リーダーシップとマネジメントに長けた専門家を育成することです。「徹底した指導と実践的な研究の両方を重視する大学」として自認しています。

2021年、本学は国連の17の持続可能な開発目標（SDGs）を中長期開発計画に組み入れました。同時に、サステナビリティ委員会を設置し、高等教育の人材育成はもとより、環境保護、経済成長、社会進歩、そして持続可能な発展へのビジョンと社会的責任感を持った大学として、時代に即した発展を目指しています。

学生数 約8,000人（内 留学生 約100人）

学部

理工学部

電気工学・コンピューターサイエンス学部

経営学部

客家(Hakka)学部

人文社会科学部

デザイン学部



キャンパス

第一(二坪山)キャンパス 360301 苗栗市恭敬里聯大1号/No.1, Lienda, Miaoli 360301, Taiwan

第二(八甲)キャンパス 360302 苗栗市南勢里聯大2号/No.2, Lienda, Miaoli 360302, Taiwan

Homepage : <https://www.nuu.edu.tw/index.php>



東義大学校

韓国・釜山広域市



概 要

東義大学校は、釜山に 15 大学ある 4 年制大学のうちで、2 番目に規模が大きく、美しいキャンパスを持ち、21 世紀にふさわしい学生中心の教育環境と革新的な教育改革プログラムを提供しています。

東義大学校は 1977 年慶東工業専門学校を前身として設立されました。1979 年東義大学に改編され、持続的な成長と発展を重ね、開校 5 年目の 1983 年に 4 年制の総合大学に昇格し、1989 年韓医科大学が設立されて仁術を通じた社会奉仕の大きな役割を果たしている。現在 9 つの学部、6 つの大学院、14 の附属機関、40 の研究施設、産学協力団傘下の 16 の附属機関と漢方医科大学附属韓方病院及び田浦総合社会福祉館、東義保育所があります。

また、スポーツの名門校でもあり、野球部、サッカー部の全国大会優勝をはじめ、フェンシング部はアジア大会においてメダルを獲得するなど、優秀な選手の育成にも努めています。さらに、映像大学ではイタリアの国際短編映画祭で特別賞を受賞するなど、様々な専門分野において優秀な総合大学です。

学生数 約 22,000 人（内 大学院生 約 600 人、留学生 約 300 人）

学 部 9 学部 78 学科

Humanities and Social Sciences（人文社会科学学部）

Business & Economics（商経学部）

Natural Sciences（自然科学部）

Nursing, Healthcare Sciences and Human Ecology（医療保健生活学部）

Korean Medicine(東洋医学部)

IT Convergence College of Components and Materials Engineering(IT 融合部品素材工学部)

College of Engineering（工学部）

College of ICT (Information and Communication, Technologies) Engineering

(ICT [情報通信、テクノロジー] 工学部)

Art, Design and Sport Science（芸術デザイン体育学部）

キャンパス

伽倻キャンパス 釜山広域市釜山鎮区厳光路 176

楊亭キャンパス 釜山広域市釜山鎮区楊亭路 52-57

Homepage : <https://eng.deu.ac.kr/eng>





木浦大学校

韓国・務案郡



概要

木浦大学校(Mokpo National University)は、朝鮮半島南西部の重要都市である木浦市に位置しており、キャンパスは韓国で神聖視されている山の一つである僧達山(Seungdal-Mountain)のふもとにあります。

木浦大学校の第一の教育目標は、個々が選んだ研究分野における学術的理論や方法論を教えることで、才能ある学生を育成し国家および人類全体の繁栄に寄与することです。また、全羅南道における重要な高等教育機関としての役割を果たすため、アジア太平洋地域をはじめとした世界各地の大学との国際交流ならびに交流協定を推進し、木浦大学校を競争力のある国際的な大学にするよう意欲的に取り組んでいます。さらに木浦大学校は、理論と実践を兼ね備えた地域基盤の国際的な才能を養育・生み出すことで、地域発展につながるよう目指しています。

木浦大学校の教育哲学、教育理念である「創造・高潔・奉仕」に従って、地域社会を率いる力強いリーダーシップを持った人材を育てることにまい進しています。

沿革

- 1946 年 木浦師範学校設立
- 1963 年 12 月 木浦教育大学に改編
- 1978 年 3 月 木浦初級大学になる
- 1979 年 3 月 4 年制の国立木浦大学になる
- 1990 年 3 月 総合大学に昇格し、木浦大学校となる

学生数 約 13,000 人（学部生 約 11,600 人、大学院生 約 1,400 人）

学部

- Humanities（人文学部）
- Social sciences（社会科学学部）
- Natural sciences（自然科学学部）
- Engineering（工学部）
- Business Administration（経営学部）
- Human Ecology, Arts and Physical Education（生活科学芸術体育学部）
- Education（教育学部）
- Pharmacy（薬学部）
- Liberal Education（教養教育学部）

キャンパス

- 木浦キャンパス 全羅南道木浦市南農路 41 番キル 11
- 南岳キャンパス 全羅南道務安郡三郷邑南岳里 2540
- 道林キャンパス 全羅南道務安郡清溪面栄山路 1666

Homepage : <https://eng.mokpo.ac.kr/eng/index.do>



釜山外国語大学校

韓国・釜山広域市



概要

キリスト教精神に基づき設立された私立外国語大学で、語学教育を基盤とした多言語・多文化教育や、語学と IT 又はビジネス関連技能を融合させるカリキュラムで、国際社会で活躍するグローバル人材の育成を目指しています。また、日本語専攻者数が韓国内で最も多い大学で、日本人教員数も最も多く、日本との交流に積極的に取り組んでいます。

学生数 約 9,600 人（内 韓国人学生 約 8,900 人、外国人留学生 約 700 人）

沿革

- 1950 年 12 月 財団法人盛昌学院設立
- 1981 年 11 月 学校法人盛智学院に変更
- 1981 年 12 月 釜山外国語大学設立
- 1982 年 3 月 釜山外国語大学開校
- 2014 年 2 月 南山キャンパスに移転



学 部

〈ヨーロッパ & 米州大学〉

英語学部、フランス語科、ドイツ語科、スペイン語科、ポルトガル語科、イタリア語科、ロシア語科、トルコ・中央アジア語科、ヨーロッパ地域通商学科

〈アジア大学〉

韓国語教育学科、日本語融合学部、中国学部、タイ語科、インドネシア・マレーシア学科、ベトナム語科、ミャンマー語科、インド地域通商学科、アラブ学科、G2 融合学科

〈社会科学大学〉

映像コンテンツ融合学部、相談心理学科、社会福祉学科、国際学部、外交・国際開発学部、警察行政学部、サイバー警察学科、サイバー融合保安学科、社会体育学部、スポーツリハビリテーション学科

〈商経大学〉

経営学科、スマート資産経営学科、国際マーケティング学科、国際貿易学科、経済金融学科、国際秘書学科、航空サービス学科、ホテル・観光学部

〈IT 大学〉

コンピューター工学科、ソフトウェア学部、人工知能融合学科、ビッグデータ学科

キャンパス

65, Geumsaem-ro 485beon-gil, Geumjeong0gu, Busan, Korea

Homepage : <https://oiaglobal.bufs.ac.kr/>





又松大学校

韓国・大田市



概要

又松大学(WSU)は、1954 年に設立された又松教育財団に属し、教育、指導、訓練において優れた活動をしてきた長い歴史を持っています。

韓国・大田にある又松大学校は、実践と理論に基づいた専門的なカリキュラムを提供する大学です。WSU の 3 つのインターナショナル・スクール、「ソルブリッジ・インターナショナル・スクール・オブ・ビジネス」、「エンディコット・カレッジ・オブ・インターナショナル・スタディーズ」、「JW キム・カレッジ・オブ・フューチャー・スタディーズ」は、国際的に著名な教授陣によって英語のみで運営されています。さらに、鉄道交通学部、ソフトウェアコンバージェンス学部、ホテル調理学部、健康福祉学部、ウソン大学院の 4 学部及び大学院があります。1995 年の WSIU 設立以来、又松大学校は 60 カ国以上の大学や学校と 400 以上の覚書を交わしてきました。協力プログラムには、学生や教員の交換プログラム、共同研究、二重学位、留学などを含みます。WSU は、国際社会に貢献する優秀な人材の育成に努めています。創立者であるキム・ジョンウの教育理念の下、自立、良識、忍耐の教をを体現した卒業生を輩出することを目指しています。実社会で通用する優れた知性と義理人情を身につけることで、国際社会をリードし、地域社会に貢献・奉仕できる人材を育成しています。

沿革

1954 年 4 月 17 日 又松教育財団創立

1995 年 3 月 18 日 又松大学校開校 (8 学部、950 名の学生が入学)

学生数 約 12,723 人

学 部

融合経営、グローバル融合ビジネス、グローバルホテルマネジメント、AI・ビックデータ、Endicott 自律融合、鉄道建設システム、鉄道システム、鉄道経営、建築工学、物流システム、鉄道車両システム、IT 融合、テクノメディア融合、外食調理、グローバル調理、外食調理栄養、バイオ食品化学、外食調理経営、ホテル観光経営、ヒューマンデジタルインターフェース、社会福祉、物理療法、作業療法、保健医療経営、言語聴覚療法、救急救命、消防安全、看護、乳幼児教育、スポーツ健康リハビリテーション、ビューティーデザイン経営

キャンパス

27 Baengnyong-ro 57beon-gil, Jayang-dong, Dong-gu, Daejeon, Korea

Homepage : www.wsu.ac.kr/en





ハンシン大学校

韓国・ソウル特別市

概 要

1940 年にキリスト教の精神に基づき設立されたハンシン大学は、真理、自由、愛の実践を教育理念として、歴史の険しい道を長い時間歩んできました。ハンシン大学は柔軟な思考と創造性、深い洞察力と広い知識を備え、平和と自由、真理という価値を理解し実践するグローバル平和のリーダーを育成します。

沿 革

- 1939 年 朝鮮神学院設立準備会結成
- 1940 年 ソウル仁寺洞昇東教会で朝鮮神学院開校
- 1951 年 韓国神学大学校に校名変更
- 1992 年 ハンシン大学校に校名変更

学生数 約 5,400 人（留学生数 約 400 人）



学 部

神学・人文科学科、経済貿易国際局、グローバル・行政学科、ビジネス&メディア学科、社会福祉学、適応体育学科、科学技術部、AI・ソフトウェア学科

キャンパス

SEOUL CAMPUS : 159, INSUBONG-RO, GANGBUK-GU, SEOUL

OSAN CAMPUS : 137, HANSHINDAE-GIL, OSAN-SI, GYEONGGI-DO

Homepage : <https://www.hs.ac.kr/eng/index.do>





ボアジチ大学

トルコ・イスタンブール



概 要

ボアジチ大学は、トルコ共和国の西部に位置し、ボスポラス海峡を挟んで東西に広がるイスタンブール市にある国立大学です。「ボアジチ」はトルコ語で、ボスポラス海峡のことを指します。

1863 年にアメリカ本国外に始めて創設された高等教育機関であるロバート・カレッジを通じてアメリカの教育システムを持つ大学として設立されました。

ボアジチ大学には、トルコの大学入試システムである YGS-LYS (Student Selection and Placement System) で入学を希望する学生が最も多い大学です。

ボアジチ大学には、9 つの学部と 43 の学科があり、多くの学生が入学を希望していることにより、教育、工学、社会科学、応用化学の分野において、優秀な学生が多数入学してきます。

学生数 約 16,497 人 (内 留学生約 380 人)

学 部

- The Faculty of Arts and Sciences (教養学部)
- The Faculty of Communication (コミュニケーション学部)
- The Faculty of Economics and Administrative Sciences (経済行政科学部)
- The Faculty of Education (教育学部)
- The Faculty of Engineering (工学部)
- The Faculty of Law (法学部)
- The Faculty of Managerial Sciences (経営科学部)
- The School of Foreign Languages (外語学部)

キャンパス

- South Campus Guney Kampusu Bogazici University Bebek 34342 Istanbul
- North Campus Kuzey Kampusu Bogazici University Bebek 34342 Istanbul
- Hisar Campus Hiser Kampu s u Bogazici University Bebek 34342 Istanbul
- Uçaksavar Campus Bogazici University Bebek 34342 Istanbul
- Kandilli Campus 34684, Cengelkoy, Istanbul
- Saritepe Campus Bogazici Universitesi Saritepe Kampusu 34450 Sariyer, Istanbul
- Anadolu Hisarı Campus

Homepage : www.boun.edu.tr/en-US/Index



ロス・メダノス・カレッジ(LMC)

アメリカ・ピッツバーグ



概要

ロス・メダノス・カレッジ(LMC)は、1974年にコントラ・コスタ・コミュニティ・カレッジ・ディストリクト(CCCCD)に属するコントラ・コスタ・コミュニティ・カレッジ(CCC)、ディアブロ・バレー・カレッジ(DVC)に続く、3番目のコミュニティカレッジとして設立されました。LMCは、カリフォルニア州ピッツバーグ市に位置し、修業期間2年のコミュニティカレッジです。大学名の語源はスペイン語であり、ロスとは内陸、メダノスとは砂丘の意味で、内陸の砂丘の大学という意味になります。

メインキャンパスは、サンフランシスコの東約65km、オークランドのバークレイの東50kmに位置し、最寄りの空港はオークランド空港です。大学施設は、図書館、学部棟、プラネタリウム、音楽棟、陶芸棟など多くの建物で構成されています。2008年には新しく科学棟も設置されました。

学生数 7,675人 (2024年春学期)

専攻

Administration of Justice (司法行政)、Anthropology (人類学)、Art (芸術)、Automotive Technology (自動車技術)、Anthropology(天文学)、Automotive Technology(自動車技術)、Biological Science (生物科学)、Business (ビジネス)、Chemistry (化学)、Early Childhood Education/Child Development (幼児教育/子どもの発達)、Communication Studies (コミュニケーション研究)、Drama (ドラマ学)、Computer Science (コンピュータ科学)、Economics (経済学)、Electrical/Instrumentation Technology (電気/計装技術)、Emergency Medical Services (救急医療サービス)、Engineering (工学)、English (英語)、Ethnic Studies (民俗学)、Fire Technology (消防技術)、History (歴史)、Journalism (ジャーナリズム)、Liberal Arts(一般教養教育)、Management & Supervision (管理と監督)、Mathematics (数学)、Music (音楽)、Nursing (看護)、Nutrition (栄養学)、Philosophy (哲学)、Physical Science (物理化学)、Physics (物理学)、Political Science (政治学)、Process Technology (プロセス技術学)、Psychology (心理学)、Recording Arts (レコーディング芸術)、Social Justice Studies (社会正義研究)、Sociology (社会学)、Transfer Studies (転送研究)、Welding Technology (溶接技術)、World Languages (世界言語)、Work Experience Education(就労経験教育)

キャンパス

2700 East Leland Road, Pittsburg, CA

Homepage : <http://www.losmedanos.edu/>



ディアブロ・バレー・カレッジ(DVC)

アメリカ・プレザントヒル



概要

ディアブロ・バレー・カレッジ(DVC)は、1949年にコントラ・コスタ・コミュニティ・カレッジ・ディストリクト(CCCCD)に属する2年制のコミュニティカレッジとしてカリフォルニア州プレザントヒルに設立されました。

DVCはサンフランシスコから50kmの場所に位置し、Bay Area Rapid Transit (BART) という通勤電車の最寄り駅(プレザントヒル)までキャンパス内からバスが運行しています。DVCには74の学生サークルや組織があります。また、61ヶ国から集まった約900人の留学生在が学んでいます。

学生数 約 22,000 人

専攻

ビジネス、企業会計、経営管理、ビジネスマーケティング、ビジネス不動産、化学、コンピュータ科学、建設、料理芸術、ダンス、歯科助手、歯科衛生士、演劇、幼児教育、経済学、教育、電気/電子技術、エネルギーシステム、工学、工学技術、英語、ESL、環境科学、映画、テレビ、電子メディア、中国語、コミュニケーション研究、コンピュータ情報システム、コンピュータネットワークテクノロジー、アラビア語、建築、芸術、アートデジタルメディア、美術史、天文学、生物科学、薬物依存研究、司法、連合保健、人類学、フランス語、地理、地質学、ドイツ語、健康科学、空調、歴史、園芸、人文、工業デザイン、イタリア語、日本語、ジャーナリズム、運動学、図書館技術、数学、音楽、音楽産業研究、栄養学、ペルシャ語、哲学、体育理論、物理学、配管、政治学、心理学、呼吸療法、ロシア語、社会科学、社会学、スペイン語、特別教育、スピーチ、蒸気フィッティング、トランスファー研究 等

キャンパス

Pleasant Hill campus 321 Golf Club Road Pleasant Hill, CA 94523

San Ramon campus 1690 Watermill Road San Ramon, CA 94582

Homepage : <https://www.dvc.edu/>





コントラ・コスタ・カレッジ(CCC)

アメリカ・サンパブロ



概要

コントラ・コスタ・カレッジ（CCC）は、コントラコスタコミュニティカレッジ自治区にある 3 つの大学(LMC、DVC そして CCC)の中で最も古く、最も多様な大学です。主にラテン系、アフリカ系アメリカ人、アジア系の学生に教育を提供している CCC は、サンパブロとリッチモンドのなだらかな丘陵地帯を走るワイルドキャットクリークに強調される、美しく自然豊かな 83 エーカーの敷地にあります。1949 年の開設以来、ウェスト郡地域で唯一の高等教育機関として模範的な教育サービスを提供してきました。CCC は、毎年 7,000 人以上の学生に教育サービスを提供しており、優秀な教員とスタッフが最高の学習環境の構築に専念しています。

キャンパスには、2016 年秋にオープンした新しい大学センターがあり、学生はすべての新しいアクティビティビルディング、本屋、ダイニングセンターを含む料理芸術プログラム施設を利用できるようになりました。キャンパスの中央には、新しい教室棟とコミュニティホール、キャンパスの管理スペースもあり、快適な居住空間で修学できます。

学生数 約 1,700 人（フルタイム学生）

専攻

Accounting(会計学)、Automotive Collision Repair（自動車事故修理）、Automotive Service Technician（自動車サービス技術者）、Business（ビジネス）、Business Office Technology（ビジネスオフィステクノロジー）、Computer Information Systems（コンピューター情報システム）、Information Technology（情報技術）、Real Estate（不動産）、Fine + Media Arts（美術、メディアアート）、Culinary Arts（料理）、Dance（ダンス）、Digital Film Production（デジタル映画制作）、Dramatic Arts（現代演劇）、Music（音楽）、Certified Nursing Assistant（認定看護助手）、Emergency Medical Technician（救急救命士）、Health + Human Services（健康、福祉サービス）、Kinesiology（運動（生理）学）、Medical Assisting（医療アシスタント、Nursing（看護）、Pre-Allied Health（医療補助者前過程）、Physical Education（体育）、Public Health Science（公衆衛生学）、Communication Studies/Speech（コミュニケーション学、スピーチ）、English（英語）、English as a Second Language（第二言語としての英語）、Journalism（ジャーナリズム学）、Foreign Languages(外国語)等

キャンパス

500 Court Street, Martinez, CA 94553

Homepage : <https://contracosta.edu>



サンフランシスコ州立大学

アメリカ/サンフランシスコ



概要

サンフランシスコ州立大学は、サンフランシスコという世界有数の大都市に位置する都市型の公立大学です。質の高い教育、学部および大学院教育への幅広いアクセスに尽力し続けた 100 年以上の歴史に基づき、学生にオープンマインドな探究心と熟考を求める総合的で厳格なアカデミックプログラムを提供しています。知識を追求し、創造性を刺激し、多様なコミュニティを支援することで、社会正義と世界の前向きな変化を推進し、卓越した学びを提供しています。

沿革

サンフランシスコ州立大学は、学士号と修士号を授与する国内最大の高等教育システムであるカリフォルニア州立大学(CSU)の一部です。地元の教育者のための学校として始まりましたが、今日、サンフランシスコ州立大学の 280 万人以上の卒業生は、世界中の科学、ビジネス、公共サービス、ジャーナリズム、芸術など、事実上あらゆる分野の活動のリーダーを担っています。

サンフランシスコ州立大学は、1899 年にサンフランシスコ州立師範学校として設立され、1921 年にサンフランシスコ州立教師大学になり、1935 年にサンフランシスコ州立大学になりました。1972 年にカリフォルニア州立大学サンフランシスコ校になりましたが、1974 年以降は、現在のサンフランシスコ州立大学として高等教育機関として優秀な卒業生を輩出しています。

学生数 約 22,000 人

学部

College of Ethnic Studies (民俗学学部)

College of Professional & Global Education(専門的グローバル教育学部)

College of Health & Social Sciences (健康・社会科学部)

College of Liberal & Creative Arts (教養学部)

College of Science & Engineering (理工学部)

キャンパス

1600 Holloway Avenue, ADM153 San Francisco, CA 94132 USA

Homepage : www.sfsu.edu



留学体験レポート

外国研修

外国研修（英語）

【研 修 先】 グリフィス大学附属英語学校（オーストラリア）

【滞在期間】 2024 年 8 月 9 日(金)～2024 年 9 月 10 日(日)（30 泊 31 日）

【参加人数】 10 名

【研修内容】

8 月 9 日(月)	出発 福岡空港発～羽田空港・・・シャトルバス・・・成田空港発
8 月 10 日(土)	ブリスベン(オーストラリア)空港着 ゴールドコースト到着 観光 ホテル滞在
8 月 11 日(日)	10：00 ホテル出発、GELI 到着 ホストファミリーと対面
8 月 12 日(月)	9：00～11：00 オリエンテーション・クラス分 11：30～13：00 授業 GELI の交流プログラム参加または自由行動
8 月 13 日(火) ～16 日(金)	9：00～13：00 授業 13：00～GELI の交流プログラム参加または自由行動
8 月 17 日(土) ～18 日(日)	自由行動
8 月 19 日(月) ～23 日(金)	9：00～13：00 授業 13：00～GELI の交流プログラム参加または自由行動
8 月 24 日(土) ～25 日(日)	自由行動
8 月 26 日(月) ～30 日(金)	9：00～13：00 授業 13：00～GELI の交流プログラム参加または自由行動
8 月 31 日(土) ～9 月 1 日(日)	自由行動
9 月 2 日(月) ～6 日(金)	9：00～13：00 授業 13：00～GELI の交流プログラム参加または自由行動
9 月 7 日(土)	帰国 ブリスベン空港 → 成田空港着（東京泊）
9 月 8 日(日)	羽田空港発 → 福岡空港着 解散

【滞在方法】 ホームステイ

【参加費用】

研修代金総額 696,700 円

・プログラム費用 386,770 円

ホームステイ費用（3 食付き）、空港までの送迎、緊急サポート費用含む

・航空券・諸税 262,530 円

空港諸税、燃油サーチャージ含む

ETA（電子渡航申請） 約 1,800 円

学研災付帯海外留学保険 7,470 円（31 日間）



自分を変えた旅

所属：経済学部国際商学科

氏名：藤村 えみり



オーストラリアのゴールドコーストにあるグリフィス附属英語学校で行われた外国研修に参加しました。このプログラムに参加する前と参加後の心情の変化、今後の英語学習に生かしていきたいことについて振り返っていきます。

まず、このプログラムに参加した理由は、親に頼り切っていた自分を变えたいという気持ちからでした。何かあれば金銭面でも精神面でも親の力を借り続けた 20 年間。そのため、自分には一人で生きていく力があるのか、大学卒業後やっていけるのかという漠然とした不安が積もっていました。そんな中このプログラムを見つけ、「この研修を通して変わることができるかもしれない」という期待を胸に参加を決意しました。その後は、もともと好きだった英語学習により力を入れるとともに、必要な費用は自分で貯めようと決めバイトも始めました。遊びたい気持ちや欲しい物を買いたい欲と戦う日々で、働くことの大変さ、お金を貯めることの難しさも知りました。

オーストラリアに着いてからは激動の毎日でした。トラムと呼ばれる路面電車を主に利用していたのですが、誰かが大音量で音楽を流したと思えば周りの人たちが徐々に歌い始め、最終的には大合唱が行われるという一部始終を目の当たりにしたとき、見たことのない景色に笑いがこみあげてきて、「ああ、海外に来たんだ。」と感じたことを強く覚えています。また、人見知りな私で、授業が始まってから数日は自分から声をかけて友達を作ることができず、同じ大学の人たちと行動しがちでしたが、グループワークで仲良くなった子をきっかけにどんどんコミュニティが広がっていき、現地の同世代の子たちとも遊ぶようになりました。既存のコミュニティに留まらず、新たな友達の輪を広げていくという意識が変わったことは、人見知りな私を大きく変えてくれた経験になったと感じています。

英語学習の面では、自身のスピーキング力の無さに何度も落胆しました。今まで得意としていた英語はあくまでテストのための英語力で、まったく聞き取れないホストファミリーの会話を聞くことが苦痛になった時もありました。しかし、ホストマザーはただとどしい私の英語を最後まで聞いてくださったり、表現を間違えていれば訂正してくれたりなど、私のために多くの時間を割いてくれました。単語や文法を学ぶことはもちろん大切ですが、リスニングとスピーキングはもっと大事で、この二つの力を身に着けることの大変さを何度も痛感しました。今後は海外 Youtuber の動画を見てネイティブの会話の速度に慣れたり、一人で今日の出来事を英語で話してみたりなどの取り組みを継続し、リスニングとスピーキング力の向上に力を入れていきたいと思っています。

見知らぬ土地で、一人で何とかしないといけない状況に身を置くことは正直とても怖かったです。何度も日本に帰りたと思いました。親元を離れたことも日本から出たことも、バイトで社会の理不尽さを体験したことも、すべてが初めてで、すべてが怖かったです。しかし、確実に成長できたと思っています。この研修に参加しなければ得ることのできなかった感情、会えることのなかった多くの友達、たくさんの温かいモノに囲まれて本当に充実した日々でした。一生忘れることのできない素敵な経験を 20 歳でできたこと、本当に良かったです。大好きな街になったゴールドコーストにまた訪れることができるように、成長した姿をホストファミリーに見せることを目標にこれからも頑張っていきます。



参加費用以外の経費

通信費 約 2,500 円
交通費 約 2,000 円
食費 約 10,000 円

滞在するのに持参した方がよいもの

ポケットティッシュ、モバイルバッテリー、帽子、サングラス

参加してよかったこと

様々な文化を実際に体験できること

通学方法と所要時間

家から駅までバス：30 分、駅から GELI までトラム：15 分

授業後や休日の過ごし方、参加した課外活動

授業後は友達とカフェに行ったりショッピングに行ったりした。
休日は動物園や観光地に行った。ホストマザーがドライブやおすすめのレストランに連れて行ってくれた。

大変だったこと、困ったこと

駅から家までが遠かったため終バスが平日で 17 時台、休日は 15 時台だったことが不便だった。また、道路の作りが特殊でクネクネまがっているため、乗り物酔いしやすい人は酔い止めが必須だと感じた。

貴重な時間を過ごした 1 か月

所属：経済学部国際商学科

氏名：久保 宣幸



2024 年の 8 月 9 日から 1 か月間、オーストラリアのゴールドコーストにあるグリフィス大学附属英語学校の研修に参加しました。海外に行くのが初めてだったため少し不安もありましたが、ゴールドコーストは治安もよく、天候もよく、人もとても優しく、とても過ごしやすかったです。初日には、ゴールドコーストのビーチや飲食店などを回りました。海はとてもきれいで砂は日本では考えられないほどサラサラでした。滞在した 1 か月間で 10 回は、ビーチに足を運びました。

飲食店のメニューも全て英語で最初は読み取りに苦労しましたが、だんだん慣れました。ゴールドコーストの飲食店は、世界中の国々から出店していて様々な国の料理を楽しめましたが、物価は日本の 2 倍以上でした。研修期間中にホストファミリーが準備する食事が足らず、頻繁に外食が必要だった私には痛手で、研修中の 1 か月間食事を我慢した結果体重が 4 キロ減りました。

ホストファミリーはイラン出身の移民で、これまで全く接点がなかったアラブ系の食生活や文化に触れることができ、いい経験ができました。家族の間ではペルシャ語で、私には英語で優しく接してくれました。時には、自分の言いたいことを英語でうまく表現できず、苦労しましたが、なんとかジェスチャー等を使って思いを伝えることができました。ホストファミリーやオーストラリアの方々との会話で気づいたことは、自分の思いや考えをストレートに遠慮なく伝えてくることです。彼らには、察するといったことや、空気を読むといった日本人独特の文化がないため、言いたいことをストレートに伝えることが重要だと感じました。

語学学校のクラスは、少人数クラスで、8 月中はクラスの全員が日本人でしたが、クラスでは英語のみ使用可能で実践的な英語を学べました。世界で起こっている社会問題や環境問題など幅広く学び、解決策を議論しました。最後の 1 週間は様々な国の学生が参加し、意見交換や会話を楽しみました。放課後は、大学の図書館で課題に取り組み、陸上競技場でトレーニングをし、友達とちょっとした観光を楽しんで充実した時間を過ごせました。図書館では多国籍の学生達が熱心に勉強していて刺激を受けました。陸上競技場でもたくさんの方が練習しており、現地の大学生の陸上チームのトレーニングに 2 回参加させてもらい、彼らのトレーニング方法を学びました。第 1 週目の土曜日は、ホストファミリーの友人の結婚記念パーティーに参加し、イラン独特の料理やダンス等の文化にも触れ、日曜日はオーストラリア在住の親戚と一緒にゴールドコーストの植物園とビーチに行きました。

第 2 週目の土曜日には、地元で有名な動物園を訪れ、日曜日はツアーに申込み、世界自然遺産独特の自然環境に触れました。

第 3 週目の週末は、親戚が住むブリスベンに行き、街観光をした後に親戚の家で夕食を一緒に食べ、日曜日には、子供の空手の昇級試験を見にいきました。オーストラリアの都市や家、文化など様々なことを体験することができた親戚家族との時間でした。

この 1 か月の研修で、英語だけではなく、多様な文化を学ぶことができました。また、様々な国々の人とも出会うことができ、日本ではなかなかできない貴重な体験ができたと感じています。この 1 か月のオーストラリアの研修で経験したことを活かして、これからも様々なことに挑戦していきたいと思います。



参加費用以外の経費

通信費 約 2,000 円、交通費 約 20,000 円、食費 約 20,000 円

通学方法と所要時間

学校への行きは車 約 40 分、帰りは電車とバスを乗り継いで約 90 分

滞在するのに持参した方がよいもの

海外変換プラグ（オーストラリアに対応したコンセント）
ドライヤー、クレジットカード、その他日用品など

授業後や休日の過ごし方、参加した課外活動

大学の陸上競技場でトレーニング
観光（ビーチ、動物園、自然保護区や自然遺産、街歩き等）

参加してよかったこと

日本とは全く異なる文化、言語の中で 1 か月生活できたこと
現地の良さに加え、日本の良さにも改めて気づくことができたこと

大変だったこと、困ったこと

ネイティブの英語のスピードが速すぎて度々理解に苦しんだこと。

外国研修（中国語）

【研修先】 青島大学校（中国）

【滞在期間】 2024 年 9 月 8 日(日)～2024 年 9 月 21 日(土)
(13 泊 14 日)

【参加人数】 16 名

【研修内容】



9 月 8 日(日)	福岡国際空港発 → 仁川空港着 → 青島空港着 青島大学へ移動し入寮
9 月 9 日(月)	9 : 00～10 : 00 開校式（敏行楼五階会議室）
	10 : 10～12 : 00 中国語の授業
	12 : 00～歓迎宴会、青島市内観光
9 月 10 日(火)	9 : 00～12 : 00 13 : 00
	8 : 30～12 : 20 授業
	14 : 00～16 : 30 日本語学科と交流会
9 月 11 日(水) ～14 日(土)	8 : 00～12 : 00 授業
	自由時間
9 月 15 日(日)	崂山観光
9 月 16 日(月)	終日 自由行動
9 月 17 日(火)	終日 自由行動
9 月 18 日(水)	8 : 00～12 : 00 授業
	自由時間
9 月 19 日(木)	8 : 00～12 : 00 授業
	14 : 00～15 : 50 文化体験授業（中国書道、自由参加）
9 月 20 日(金)	8 : 00～12 : 00 授業
	14 : 00～15 : 50 文化体験授業（中国茶芸、自由参加）
	16 : 00～17 : 00 終業式
9 月 21 日(土)	帰国 青島空港発 → 仁川空港着 → 福岡国際空港着 ・解散

【滞在方法】 青島大学の寮

【参加費用】

研修代金総額 155,590 円

（航空券及び空港諸税、燃油サーチャージ等、プログラム費用、寮費（昼食付き）、観光・文化体験費用、空港までの送迎、緊急サポート費用、手数料含む）

学研災付帯海外留学保険 約 5,000 円（14 日間）

その他

食費、通信費、交通費(研修費用に含む金額を除く)

外国語研修（中国）に参加して

所属：経済学部経済学科

氏名：松井 亜希



2024年9月8日～21日の2週間、中国の青島大学で行われた外国研修に参加しました。参加した理由は、海外の文化や生活に直接触れてみたいと思ったからです。また、下関市立大学で中国語を勉強したり、中国人留学生と交流したりした経験から自分の目で中国を見てみたいと思い応募しました。

基本的には、平日（今回中秋節が重なったため土曜日まで）の8時～12時まで50分×4コマ（2コマずつスピーキングとリーディング）の授業がありました。私たち日本人だけでなく、韓国やロシア、タイ、フランスなど世界中の人達と一緒に授業を受け、日常とかけ離れた体験をすることができました。授業スタイルは日本の高校の授業に似ていましたが、発言する機会が多く、積極的に発表することができたと思います。内容は、自己紹介や単語を発声したり、文法を学んだりしました。様々な国の学生と一緒に授業を受けるため、英語で説明・解説されたので中国語だけでなく、英語の語学力も上がり、帰国後の勉強意欲にもつながりました。

また、青島大学の日本語学科の学生と交流する機会もありました。一緒にゲームをしたり、大学での日常生活についてお互いに質問しあったりして、全く違う生活スタイルに驚きました。その後、仲良くなった学生と食事に行ったり、観光案内などをしてもらったりして交流を深めました。以前下関市立大学に交換留学していた学生と再会もでき、とても嬉しかったです。

2週間の研修で様々な観光地を巡ることができ、特に労山に登ったことが1番記憶に残っています。天気や気温もよく、登山するのに最高でした。2時間程度歩き、孔子の石彫の大きさにはとても驚きました。また、孔子や儒教についての資料や建物を見ることができ、日本でも馴染みがあったため理解が深まりました。運動しながら中国語や文化の勉強ができ新鮮でした。

この2週間を通じて、実際に自分で体験することが大切だと思いました。最初、中国に行くことに不安を感じていましたが、実際に行ってみると現地の人はとても優しく接してくれました。また、隣国でありながら日本と比較して全く違うことがたくさんあることに気づかされました。例えば、キャッシュレス化がとても進んでいることです。現金を使う機会がとても少なく、携帯で支払う場面がすごく多かったです。現金で支払いをしようとした際に、わざわざ事務所から現金を持って来たため、現地の人がいかに現金を利用する機会が少ないかということを知りました。次に、物価がとても安いことです。地下鉄やバスはある程度の距離は2元（約44円）であり、日本に比べてすごく安かったためたくさん観光できました。また、食事や買い物をするときも日本より断然安く、驚きが隠せませんでした。しかし、日本と違って水道水を飲むことができないことやトイレには紙が設置されていないため、水などの消耗品を買う機会が多かったです。

今回、青島での外国研修に参加して、異文化への理解や自分の語学力を試せるいい機会だったと思います。また、自分に不足していることやマナー等を今後の大学生活で身に付けたいです。今回の経験から、今後も積極的に異文化理解や交流を行い、視野を広げていきたいです。

参加費用以外の経費

通信費 約5,400円、交通費 約800円、
食費 約12,000円

通学方法と所要時間

徒歩（10分圏内）

滞在するのに持参した方がよいもの

洗濯洗剤、トイレットペーパー（持ち歩ける形状）、ハンガー、角ハンガー、変換プラグ、常備薬（風邪薬、胃薬など）

授業後や休日の過ごし方、参加した課外活動

近隣の公園や買い物に行った。
様々な観光地に行ったり、本場の中華料理を食べに行ったりした。
中国書道と中国茶芸の文化体験があった。

参加してよかったこと

中国に対して見方が変わった。
直接文化や生活に触れることができ、中国への理解が深まった。

大変だったこと、困ったこと

トイレの紙が無いため、常時ティッシュを持ち歩かないといけないこと

外国研修（中国）の中で

所属：経済学部経済学科

氏名：西村 夏奈



1年生の最初の頃には外国研修に行きたいとは思っていませんでした。しかし、漠然とした外国への興味はありました。教職課程との兼ね合いを考え、また友達の勧誘もあり、1年生の時に外国研修へ行くことを決めました。行く前には母や祖父母の反対にあいましたが、その理由を聞いてみると今の中国との関係に不安があるとのことでした。また、犯罪が多いのではないかという意見もありました。そのため、とても怖いところであるという認識で中国に行きました。しかし、二週間の中で怖い目にあったことは一度もなく無事に帰ってくることができました。

滞在先の青島大学は、大学内がとても広く、移動が大変でした。学生は中国の携帯番号を登録すると使える、音が出ない原付のようなもので移動していました。学内にコンビニエンスストア、スーパーマーケットからケンタッキーフライドチキンなどのファーストフード店まで様々なお店があり、私も頻繁に寮の下にあるセブンイレブンを利用していました。また、食堂もあり、中華まん屋やラーメン屋、ハンバーガー屋などが入っていました。お陰で食事には全く困らなかったです。

青島大学での授業は、平日 8:00~12:00 までが2コマあり、主に自己紹介や課外活動、私たち以外の留学生との交流を行いました。授業の中で先生と意思疎通が取れない面もありましたが、英語で話してもらったり、日本語で話してもらったりしながら毎日授業を受けました。

青島大学には日本語学科という日本語を勉強する学科があり、日本語学科の学生たちが自由行動の時間に、青島の教会や有名な公園、近くのスーパーなど様々なところを案内してくれました。そのため、日本語学科の方々ととてもいい関係を築けました。

日本との違いは、挙げるときりがないほどにありました。最初は規模の大きさに驚かされましたが、最後の日には普通のことであると思えるほどに順応していました。外国研修が終わり、日常が戻ってくると、友達と「中国にもう一度行きたいね」と話すほどに良い思い出として残っています。外国研修に行ったことによって、中国の見方が 180 度変化しました。加えて、二週間の中で掛け替えのない経験もできました。後悔や困難はたくさんありましたが、行ってよかったと思っています。

参加費用以外の経費

通信費 約 2,000 円、交通費 約 1,000 円
食費 約 10,000 円、娯楽費 約 30,000 円

通学方法と所要時間

徒歩約 5 分

滞在するのに持参した方がよいもの

トイレットペーパー、教科書、お土産、日本らしいもの（折り紙や日本の風景が入っているポストカードなど）、常備薬

授業後や休日の過ごし方、参加した課外活動

お土産を買いに出かける。
文化体験（茶芸、書道）

参加してよかったこと

中国語の会話のテンポを知れたこと。
中国の雰囲気が知れたこと。

大変だったこと、困ったこと

日本以外の留学生が多かったため、語学のレベルがそれぞれ違ったこと。
クレジットカードが使えないお店が多かったこと。

外国研修（韓国語）



【研修先】 ハンシン大学校（韓国）

【滞在期間】 2024年8月11日～2024年8月24日（13泊14日）

【参加人数】 15名

【研修内容】

8月11日(日)	出発 福岡発～仁川着 ハンシン大学校ソウルキャンパス 入寮
8月12日(月)	9:00～12:00 授業
	13:00～ ソウルシティバスツアー
8月13日(火)	9:00～12:00 13:00 授業
8月14日(水)	9:00～12:00 授業
	13:00～ 安国駅(北村韓屋村)観光
8月15日(木)	9:00～12:00 授業
	13:00～ 国立中央博物館訪問
8月16日(金)	9:00～12:00 授業
	13:00～ 明洞駅／南山(ケーブルカー)観光
8月17日(土)	終日 自由行動
8月18日(日)	終日 自由行動
8月19日(月)	9:00～12:00 授業
	13:00～ ハンシン大学校の大学院生との交流
8月20日(火)	9:00～12:00 授業
	13:00～ チャムシル観光
8月21日(水)	9:00～12:00 昌徳宮 訪問
	13:00～ 景福宮 訪問
8月22日(木)	9:00～12:00 授業
	13:00～ 自由時間
8月23日(金)	9:00～12:00 授業
	13:00～ 自由時間
8月24日(土)	帰国 仁川発～福岡着・解散

【滞在方法】 ハンシン大学校の寮

【参加費用】

研修代金総額 202,040 円

（航空券及び空港諸税、燃油サーチャージ等、プログラム費用、寮費（昼食付き）、観光・文化体験費用、空港までの送迎、緊急サポート費用、手数料含む）

学研災付帯海外留学保険 約 5,000 円（14 日間）

その他

食費(授業日の昼食を除く)、通信費、交通費(研修費用に含む金額を除く)

言語以外のこと

所属：経済学部国際商学科

氏名：早稲田 愛理



2024 年 8 月、2 週間の韓国研修に参加しました。第二外国語の韓国語を取り終えてからは韓国語の学習をしていなかったため、少し心配もありました。私の海外経験は、高校生のときの修学旅行でオーストラリアに行ったことのみでしたが、それでも私がこの研修に参加しようと決めたのは、新しい経験をしてみたいと思ったからです。本研修の私の目標は、大きなことでなくても良いから、新しい景色や友達に出会って新鮮な経験をたくさん積み重ねること！です。

街並みや交通機関などは確かに日本と似ていましたが、韓国語ばかりで、とても新鮮な景色でした。入寮したあとの夕食のお店でおかずが沢山出てくるのが韓国らしかったです。平日の午前に受ける授業は、簡単なあいさつから始まりました。韓国語の履修から時間が経っていた私には、基本から学ぶことができてちょうど良かったです。学食でご飯やおかずを自分でずくって 1 つのプレートに入れるのが、韓国らしくて新鮮でした。飲食店に何度か行きましたが、無事注文できて良かったです。ある日の午後の自由時間には、お土産に韓国語で名前を書いたワッペンキーホルダーを作りました。初週の途中で、ガイドしてもらった韓国の学生とはとても仲良くなり、チヂミを食べながら韓国のお酒を飲んだり、ロッテワールドに行った日もありました。サムギョブサル屋さんでは店員さんが焼いてくれ、日本のものよりも分厚くて美味しかったです。また他の日にはダイソーでお土産を買ったり、夜に漢江ラーメンをしたりしました。漢江の夜景は非常に綺麗で、みんなで食べるラーメンがより美味しかったです。カラオケにも行きましたが、韓国の学生は日本の歌を上手に歌っていました。居酒屋は 24 時間営業の店舗で、日本では見たことがなく珍しく感じました。また別の日には、袋麺を自分で調理できるお店に行き、ルームメイトと 2 人で韓国のラーメンを食べました。日本にはなかなかない形式のお店で、新鮮でした。この韓国研修で、仲良くなった韓国人学生と会える最後の日には、夜ケーブルカーで南山を登り、鍵にみんなの名前を書いてロックしました。お別れする前、学生がプレゼントをくれました。寂しかったですが、また会おうねと話しました。

私は、この韓国研修に参加して、思い出とお土産だけでなく、人との繋がりも増えました。それが 1 番重要だったと思います。韓国で 2 週間過ごす前は、友達とではなく 1 人での参加だったし、1 人で過ごすことになるかなとぼんやり思っていました。しかし、1 週目の木曜日に韓国の学生と仲良くなってから、その日一緒に過ごした市大の参加学生とも過ごす時間が増え、結果的に韓国人・日本人両方との繋がりを増やすことができました。仲良くなった韓国人学生は研修中、私たちの行きたいところや食べたいものを伝え、すぐに探してくれたり、帰国時や帰国後も LINE で声をかけてくれたりしました。一緒に過ごした市大の学生も、帰国後も会ったりしています。みんながいたので、研修中、1 人では行かないだろうなと思う場所に沢山行きました。人との繋がりは新しい経験も運んでくれるんだなと感じました。私がもし 4 年生でなければ、韓国への交換留学の参加を検討していたと思います。それくらい、非常に有意義な 2 週間でした。これから研修に参加する学生や、韓国への留学を考えている学生は、ぜひ現地の学生に声を掛けて、一緒に過ごしたりご飯に行ったりたくさん話したりして、新しい経験をしてほしいと思います。私は今後も、人との繋がりを大切に、色々な経験をしたいです。

参加費用以外の経費

eSIM 約 5,000 円、交通費(新下関-博多)往復約 6,000 円など

通学方法と所要時間

敷地内の寮なので 1 分以内です

滞在するのに持参した方がよいもの

クレジットカード、変換プラグ、小さめの海外対応ドライヤー、水に流せるポケットティッシュ、折り畳みハンガー、折り畳みの日傘(夏の日差し&急に雨が降ることがありました)、リップや化粧水(日本よりも乾燥しました)

授業後や休日の過ごし方、参加した課外活動

バスツアー、ショッピング、ロッテワールド、ロッテ百貨店 COEX、ソウルタワーと南山など

参加してよかったこと

韓国の学生との交流、日本とは違うグルメ、飲食店やチケット売り場で自分で注文した経験

大変だったこと、困ったこと

大きく困ったことはありませんでしたが、夕方の急な 1 時間くらいの雨が何度もありました

外国研修（韓国語）を終えて

所属：経済学部国際商学科

氏名：福田 未来



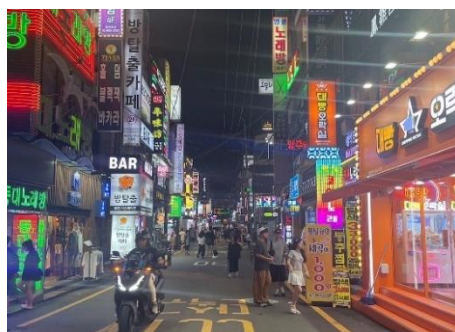
2024年8月11日から8月24日の約2週間、韓国のソウルに位置するハンシン大学校で行われた外国研修に参加しました。参加の理由は、純粋に韓国に行ってみたいと思ったからです。また、長期留学に興味があったため、実際に韓国の大学に行ってみてその下見をすることがこの研修の目的でした。

韓国語の授業があるのは平日の午前中で1日3時間ほど行われました。1日だけ午前だけでなく午後も授業を受けました。大学に入学してから韓国語を学び始めたので、このように拙い私の韓国語力で、韓国語の授業についていけるのか不安でした。教えてくださる先生はもちろん韓国の方でしたし、外国研修に参加した学生の中には韓国語がとても上手な先輩が沢山いらっしゃったこともあって、その方々と同じ内容の授業についていけるのかすごく心配になりました。しかし、想像していたよりも基礎的な内容の授業からのスタートでしたし、少しずつ難しくなってきたとしても、理解できるように先生が学生たちの様子を伺いながらスピードを調整して下さっていたので、初めにあった不安もすぐなくなりました。また、ただ単に読んで書いて勉強するだけでなく、友人先輩関係なく実際に話しながら勉強する機会を沢山くれたので、とても楽しくて充実した授業でした。

授業後の時間では、予定されていた韓国の有名な場所に全員で行ったり、個人個人で自由に行動したりしました。チューターの方と一緒に行動したりもしました。自由行動の時は、友人と目的地を決め、地下鉄やバスを沢山使って移動しました。スマホで調べているとはいえ、公共交通機関や街中の表記やアナウンスは、日本語がなく韓国語しかない時もありましたし、なにより常に全く知らない場所だったので、何度も乗り間違えたり、道を間違ったりしました。しかし、その都度、翻訳機や韓国語を使って自分たちで現地の方に尋ねたりしていたため、すごく良い経験ができたと思います。

初めての海外ということもあって研修が始まる前から不安な気持ちでしたが、そんな不安も忘れてしまうくらい楽しかったですし、どれも非日常的な感じで、とても貴重でかけがえのない経験ができました。

この研修から得たものは、韓国語のスキルだけでなく、どんなに大きな不安があってもまずはやってみることの重要性を知れたことです。得たものを生かして、今後の学校生活をより一層有意義なものにしていきたいと思っています。



参加費用以外の経費

通信費 約 5,000 円、交通費 約 8,000 円、
食費 約 20,000 円

通学方法と所要時間

徒歩で 5 分

滞在するのに持参した方がよいもの

ハンガー

授業後や休日の過ごし方、参加した課外活動

事前に SNS で調べていた場所に行く。
飲食店やカフェ、観光地など

参加してよかったこと

旅行ではできないことが経験できること

大変だったこと、困ったこと

部屋に虫がでたこと

留学体験レポート

下関市立大学 協定校



所 属： 経済学部・経済学科
氏 名： 東屋 栄次郎
派遣大学： グリフィス大学附属英語学校
派遣国／地域： オーストラリア／ゴールドコースト
派遣許可期間： 2024 年 3 月～2024 年 8 月
履 修 期 間： 2024 年 3 月～2024 年 7 月

オーストラリアでの留学を終えて

2024 年の 3 月 2 日から 8 月にかけてオーストラリアのグリフィス大学附属英語学校へ留学をしました。ここでの生活は語学力、精神面ともに成長させてくれたものであったと強く思います。大学入学当初から留学したいという気持ちがあったため、行けると決まった際にはすぐうれしかったのを覚えています。これから留学でのことを話していく前に大事なことから述べておこうと思います。それは明確な目標をもって留学に臨んだ方がより効果的になるということです。私自身は帰国するまでに native speaker と会話できること、そして TOEIC800 以上取得という目標を立ててから留学に臨みました。その成果もあり多少苦しいことがあってもくじけることなくやり切れたと思います。その為、どの国に行くにしても目標を立ててから臨んでいきましょう！！

実際にオーストラリアに留学してみた感想は、全体としてとても落ち着いていて人も優しく過ごしやすいということです。私はホームステイを選択しましたが、そこで人生で top3 に入るほどの絶望を感じました。それは、こてこてのオーストラリアアクセントのある家庭で、初日から何を言っているのかはわかりませんでした。特にルームメイトの一人がアクセントに加えて mumbling というぶつぶつ喋る人だったので、初日から 1 ヶ月位は毎日帰りたいと考えました。しかし、高いお金を払っているし、目標から逃げたくなかったので何度も会話を繰り返し、英語を上達させました。幸運なことにルームメイトの一人が英語教師だったのでとても分かりやすく説明してくれてすごく助かりました。これから留学する人は、行く前に必ず発音 L,R などをしっかりできるようになりましょう。そうでないとネイティブにさえ理解してもらえません。実際に restaurant が聞き取ってもらえませんでした……

学校は想像以上にアジア人比率が高く不満でした。日本人もたくさんいました。私は日本人とあまり関わりたくなかったので距離を取っていましたが、周りには日本人で固まっている人も多く、「何をしにここにきているんだろう」と感じたことを鮮明に覚えています。授業にはネイティブがいないので、先生が使った語彙をメモしたり盗んだりして精いっぱい努力したと思います。正直なところ語学学校だけならば、再びチャンスがあっても行きません。唯一良かったことは大学生にインタビューする時間が何回もあり、そこで練習を繰り返し、語彙を増やせたことです。今もう一度留学するならば、必ず IELTS を取って大学を目指します。

留学を始めてから 3 か月ほどたつと上手くはないですがある程度コミュニケーションはとれるようになれました。特に困ることも無くなり嬉しい出来事もありました。それは喉の痛みが治まらず病院に行ったときのことで、お医者さんに「あなた大学の専攻は何？」と聞かれたので、「英語です。」と答えるとすごく驚いて「あなた英語が上手いから学部生だと思った。」と言われたことです。この出来事のおかげで今でも英語を話す機会があるときも自信をもって話すことができます。この経験から言えることとして自信をもって英語を話すことが英語向上への近道だったということです。

まとめると、珍しい経験をし、言語力、精神力ともに成長できたと思います。日本ではしない経験（バーでのダンスやローカルの人との積極的な会話など）を経てコミュニケーション能力も格段に向上しましたが、語学学校には不満も残るため、より高度な英語を学びたい方は絶対に大学に行く方が、より高度な英語を学習でき、多くのネイティブの友達もできると思います。

最後にこれから留学を考えている人へのアドバイスは、ルームメイトがよく言っていた言葉なのですが、『if you want to try something, just try that, you may fail. But, no one remember your fail』という言葉です。この言葉のおかげで今日にいたるまで何か迷ったら挑戦してきました。皆さんも少しでも迷ったら費用は高いですが留学に挑戦することをお勧めします。



経 費

- ・ 学研災付帯海外留学保険 45,490 円/年
- ・ VISA 申請代金 60,000 円
- ・ 滞在中の経費（滞在方法：ホームステイ）

滞 在 費	190,000 円/月	入居申請料	190,000 円
食 費	30,000 円/月	水道光熱費	滞在費に含まれる
通 学 費	15,000 円/期		
携帯電話代金	3,000 円/月	インターネット代金	0 円/月
授 業 料	グリフィス大学に納付		
履修登録料	780,000 円/期		
授業を受けるためのその他の費用(教科書代など)		0 円/月	

履 修

前 期	英語（5 週間プログラム×4 回）	合計 400 時間
後 期		

参加した活動

メッセージ

派遣留学して良かったこと

英語力が伸びた
特に speaking と listening
たくさんの友人ができた

派遣留学して不利益だったと感じること

費用が高い。学校に日本人が多い

留学を考えている人へのメッセージ

迷うなら行った方がよい

持って行った方がよいもの

変圧器





所 属： 経済学部・国際商学科
氏 名： 加々良 祐美
派遣大学： 北京大学
派遣国／地域： 中国／北京
派遣許可期間： 2023 年 9 月～2024 年 8 月
履 修 期 間： 2023 年 9 月～2024 年 7 月

留学で体験したこと

私が留学に行きたかったのは幼い頃からの憧れと中国語をもっと流暢に話せるようになりたかったからです。北京大学という名前の大きさにためらいもありましたが、せっかくのチャンスだと思って留学を決意しました。

北京大学では他の国から来た学生達と中国語を学びました。全部で約 15 クラス、初級・中級・上級があり、留学が始まる前に簡単なアンケートに回答してそれに基づいてクラス分けされます。授業についていけるか不安だったため、控えめに回答して前期は中級クラスに振り分けられ、後期では上級クラスでした。授業スタイルは日本とは違って普段から学生が話す機会がとて多く、他の学生と話し合いをすることやグループでプレゼンテーションなど多々ありました。人前で話すことが苦手なのではじめは少し抵抗感がありましたが、徐々に慣れて緊張することもなくなりました。前期では留学生を対象としたスピーチ大会があり、私はクラス代表として参加しました。発表時間は 4 分間、初級・中級クラスの学生の前で、しかも原稿は暗記という状況でしたが、一等賞をとることができました。これは私の自信につながり、大きく印象に残っている出来事のひとつです。すべて中国語を学ぶ授業でしたが、その中で中国の文化や価値観などを学ぶことができました。また、それに伴ってクラスメイトの出身国についても様々な話を聞くことができたのでとても面白かったです。

普段の生活では中国の学生と知り合う機会がほぼ無かったので、北京大学の本科生と関わるべく韓国語を学ぶサークルに 1 年間参加しました。このサークルで中国人とも知り合い交流でき、簡単な韓国語を学ぶこともできたので留学生生活をより充実したものにできました。

留学期間中、中国を旅行するには滞在日数に関わらず大使館に行ってビザの手続きをしないといけませんでしたが、次いつ機会があるかわからないので、休暇中は日本に帰らず中国国内で旅行に行きました。冬のハルビンでマイナス 21 度を体感したり、成都にある世界最大級の大きさを誇る樂山大仏を見に行ったり、北朝鮮に隣接している丹東から北朝鮮を覗いたり、済南で有名な泉で大量の人ごみに揉まれたりなど、様々な経験をしました。北京でも故宮や万里の長城や盧溝橋、国家図書館などの観光地も一目見てきました。家で過ごす時間も多かったけど外に出て視野を広げることもできました。

今回の留学を通して、私はとても貴重な経験をしました。内向的な性格が大幅に変わることはありませんでしたが、少なくとも人と会話すること、自分の意見を言うことのハードルは下げることができ、最低限のコミュニケーションはとれるようになったと思います。語学力も向上し、HSK 六級の問題も留学前よりはるかに解きやすくなりました。中国語は四字熟語を使って表現することが多く、それ以外にもたくさん未知の単語があるのでこれからも中国語の勉強は続けていきます。

これまでは淡々と過ぎていく日々を過ごしていましたが、この 1 年間はとても充実していて忘れられない年になりました。人生経験としてしてみたいことだった留学に行けて本当に良かったです。家族を含め、サポートしてくださった方々には心から感謝しています。ここでの経験を無駄にしないよう、これからも努力していきたいです。



経 費

- ・ 学研災付帯海外留学保険 95,250 円/年
- ・ VISA 申請代金 4,600 円
- ・ 滞在中の経費（滞在方法：賃貸アパート）

滞 在 費	約 100,000 円/月	入居申請料	0 円
食 費	約 20,000 円/月	水道光熱費	約 1,200 円/月
通 学 費	徒歩通学のため不要		
携帯電話代金	約 1,250 円/月	インターネット代金	約 3,000 円/月
授 業 料	北京大学に納付		
履修登録料	不要		
授業を受けるためのその他の費用(教科書代など)		前期約 1,200 円 後期約 1,400 円	

履 修

前 期	中级汉语精读, 中级汉语口语, 中级写作	合計 3 単位
後 期	高级汉语精读, 高级汉语口语, 高级汉语语法, 高级报刊	合計 4 単位

参加した活動 韓国語を学ぶサークル

メッセージ

派遣留学して良かったこと

多国籍な友達ができた

留学を考えている人へのメッセージ

留学は絶対にかげがえのない思い出になるので、迷っているのなら思い切ってチャレンジすることをおすすめします！

派遣留学して不利益だったと感じること

お金が結構かかること

持って行った方が良いもの

お茶漬の素、常備薬





所 属： 経済学部・国際商学科
氏 名： 岩谷 優
派遣大学： 青島大学
派遣国／地域： 中国／青島市
派遣許可期間： 2023 年 9 月～2024 年 8 月
履 修 期 間： 2023 年 9 月～2024 年 7 月

留学体験記

2024 年 9 月から中国の青島大学に 1 年間留学をしました。元々は、高校生の時から英語に興味を持っており、アメリカやトルコに留学しようと考えていましたが、第一言語で中国語を学んでいくうちに、中国の文化や経済に興味を持ち、中国語を本格的に学んでみたいと思い、青島大学を選択しました。

青島大学では、国際教育学部に所属し、主に中国語の学習をしました。前期と後期で合計 40 単位取得しました。授業内容は、中国語の語学を中心に、リーディング、リスニング、スピーキング、ライティングの 4 分野を勉強しました。また、このような授業以外にも、青島の文化や茶道、音楽などの授業もありました。

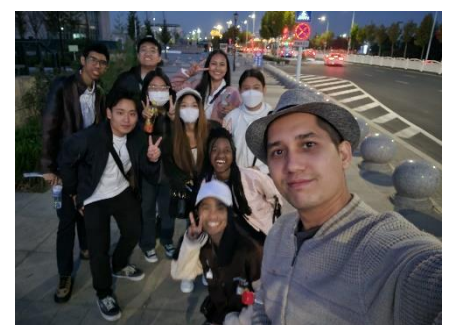
留学中は、全てが挑戦といいほど楽しい毎日でした。例えば、クラスメートや先生と話すときはすべて中国語で話すので、母国語である日本語を全く話さない点や、慣れない環境で生活していくことです。最初はとても不安でホームシックになっていましたが、同じ留学先の日本人やクラスメートが助けてくれたり、自身の言語力を上げるために勉強を頑張ったりして、少しずつ慣れていきました。

留学中で面白いと思ったことは、外国人の友達がたくさんできたことです。中国、韓国、タイ、ベトナム、ロシア、インド、パキスタン、ドイツ、オーストラリア、ウズベキスタン、タジキスタン、エジプト人など国に関係なく、様々な人たちと友達になれました。また、国ごとに様々な文化や価値観を持っており、非常に新鮮な経験でした。初めは、外国の方々と話すのは緊張しましたが、勇気をだして話しかけてみると、すぐに打ち解けることができました。私が日本人だと分かったら、アニメやゲームなどの文化の話題を出してくれました。日本の文化は、世界の中で人気ののだなと思い、誇らしい気持ちになりました。

また午前中で授業が終わるので、午後からは友達とご飯を食べに行ったり、カフェに行ったりしました。長期休暇の時には、青島から遠く離れた、北京や上海など様々な都市に旅行に行きました。同じ中国でも言葉や文化が全く違うので、別の国に行ったみたいでとても楽しかったです。

留学期間は 1 年間でしたが、一度生活に慣れてしまうと、あっという間に終わってしまいます。何のために留学をするのか、目的を明確にして行けば自身の成長にもつながると思います。そのために、留学前の事前準備をしっかりと、行くことをおすすめします。特に、中国に行ってしまうと、毎日中国語で話をするので、語学学習を入念にした方がいいと思います。

最後に、中国と台湾で留学が迷っている方がいれば、中国をおすすめしたいです。なぜなら学校で習っている簡体字をそのまま使うことができる点や本場の中国語を習うことができるからです。メディアの影響で、中国は怖いところと偏見を持っている方もいるかもしれませんが、百聞は一見に如かずということで、自身の目で見て経験してほしいです。留学を通じて、多くの学びと友達を得ることができ、挑戦することができて良かったと思います。



経 費

- ・ 学研災付帯海外留学保険 95,200 円/年
- ・ VISA 申請代金 63,460 円(旅行会社代行の場合) 12,500 円 (個人で申し込む場合)
- ・ 滞在中の経費 (滞在方法: キャンパス内の寮に滞在)

滞 在 費	10000 円/月	入居申請料	16,000 円
食 費	30,000 円/月	水道光熱費	滞在費に含まれる
通 学 費	大学内の前にあるため不要		
携帯電話代金	600 円/月	インターネット代金	500 円/月
授 業 料	下関市立大学に納付		
履修登録料	4,000 円/年		
授業を受けるためのその他の費用(教科書代など)		前・後期 各 3,600 円/期	

履 修

前 期	中国語総合、中国語リスニング、中国語スピーキング	合計 20 単位
後 期	中国語総合、中国語スピーキング、中級中国語読解、ニューススピーキング	合計 20 単位

参加した活動

メッセージ

派遣留学して良かったこと

語学力の向上と外国人友達がたくさんできたこと。

留学を考えている人へのメッセージ

就活やバイト、サークルなどで忙しいと思いますが、留学の経験は唯一無二なものだと思うので、行くべきだと思います!!

派遣留学して不利益だったと感じること

就活の時期と被ったこと。

持って行った方が良いもの

医薬品、カップラーメン、エコバック





所 属： 経済学部・国際商学科
氏 名： 松尾 百恵
派遣大学： 青島大学
派遣国／地域： 中国／山東省
派遣許可期間： 2024 年 9 月～2025 年 2 月
履 修 期 間： 2024 年 9 月～2025 年 1 月

青島大学での留学を終えて

約半年間、中国山東省青島市にある青島大学に留学しました。実際に滞在していた期間は 5 ヶ月でしたが、短くても留学して良かったと思っています。私は 1 年生の頃からずっと中国に留学したいという気持ちがありましたが、やっと新型コロナウイルス感染症の感染拡大が落ち着き、派遣留学の募集が始まってからも外国に 1 人で行く決心がつかせませんでした。中国は縁があって幼い頃から何度か行くことがあったのですが、やはり 1 人で過ごすことに対する不安が勝っていました。しかし、3 年生の終わり頃に、やはり留学に行きたいという気持ちと、行くなう大学生のときに行っておいた方がいいと思ったので申し込みをしました。留学が決まったあと、出発するまで、国際交流センターの田中先生や先生方が困ったことや分からないことがあれば直ぐに対応し、サポートをしてくださったので、安心して留学に行く心構えを整えることができました。

青島大学に到着し、入寮してすぐに入学手続きやクラス分けの試験がありましたが、中国語を聞き取ることや読むことができて、話すことが苦手だったので、少し大変でした。しかし、ルームメイトが日本人だったので助けてもらいながら手続きを終えることができました。授業は中国語だけではなく、英語でも説明してくれるので、授業内容で困ることはありませんでした。学期の終わりが近づくにつれて、英語はあまり使われなくなり、中国語を話すスピードも速くなって行きました。中国語をかなり理解できるようになり自身の成長を感じることができました。留学中に思ったことは人間関係の難しさでした。私はクラスメイトのタイ人ととても仲良くなり、2 人で上海に旅行に行きましたが、旅行先で文化の違いが原因で少しけんかになりました。その後、お互いの文化や価値観などについて話し合ったことで、より仲が深まりました。自分が思っていることを 100% 伝え切ることができない状況で人間関係を築いていくこと、深めていくことは大変でしたが、お互いの価値観を受け入れることで相手の価値観も楽しめるようになりました。

留学してよかったことはまず価値観を広げることができたことです。中国の価値観に触れ、クラスや寮ではフランスやドイツ、タイ、ベトナムなど様々な国の価値観に触れるので、今まで考えなかった方向でも物事を考えることができるようになりました。また、日本人は気を使いすぎると言われていますが、中国人は自分の意見をしっかりと主張するので、それに影響されて自分自身の意見を主張できるようになりました。しかし、日本人だけ気を使わなくなったというわけではなく、しっかりと自分の意見を主張した上で周りを気遣えるようになったと思います。

この 4 月から社会人になると、自分と価値観の合わない人とも関わりを持たないといけなくなる時が来るかもしれません。その前に異なる価値観の人と関わることへの重要性を知ることが出来る経験をする事ができて良かったです。



経 費

- ・ 学研災付帯海外留学保険 37,350 円/5 か月
- ・ VISA 申請代金 2,250 円
- ・ 滞在中の経費（滞在方法：寮）

滞 在 費	20,000/月	入居申請料	16,000 円 (退去時に返金される)
食 費	15,000 円/月	水道光熱費	4,000 円 (退去時にまとめて支払う)
通 学 費	0 円/期		
携帯電話代金	1,000 円/月	インターネット代金	0 円/月
授 業 料	下関市立大学に納付		
履修登録料	4,000 円/期		
授業を受けるためのその他の費用(教科書代など)		5,000 円/期	

履 修

前 期	総合, 听力, 口语, 功夫, 古筝	合計 9 単位
後 期		

メッセージ

派遣留学して良かったこと

留学生がとても多い学校だったので、中国語や中国文化を学びながら、他の国や文化に対する理解も深めることが出来ること

派遣留学して不利益だったと感じること

特になし

留学を考えている人へのメッセージ

自分が持っている価値観の狭さに気づくことが出来るので、とりあえず行ってみるべきだと思います。

持って行った方が良いもの

ドライヤー





所 属： 経済学部・国際商学科
氏 名： 吉森 ひなた
派 遣 大 学： 東義大学校
派遣国／地域： 韓国/釜山広域市
派遣許可期間： 2024 年 3 月～2025 年 2 月
履 修 期 間： 2024 年 3 月～2024 年 12 月

挑戦した一年間

2024 年 3 月から 12 月までの間、韓国にある東義大学校に留学しました。入学当初の私は韓国語を勉強したことがなく、文字も全く書けないような状況でしたが、留学の募集を見てなんとなく挑戦してみたいと思い、その時のテンションと勢いに任せて国際交流センターに駆け込みました。話を聞いて韓国留学をしたくなった私は、留学に行くための試験に向けて猛勉強を始めました。試験まで筆記試験対策や面接対策を毎日したので、受かった時はすごく嬉しかったです。

留学が始まってすぐは、大変なことだらけでした。なぜなら、普通の生活を送るために必要な韓国語能力を自分が持っていなかったからです。その時は、チューターや一緒に行った先輩にすごく助けられました。たくさんの人に助けられて生活はできていましたが、自分の語学力が劣っているということがとても悔しかったです。それから、早く韓国語を上達させたいと思い始めました。ひとつひとつのテストに向けて対策をしっかりと、授業に毎日出席する、難しくても授業にちゃんとついていけるように予習復習をする、など当たり前のことを毎日ちゃんとこなすようにしました。そうすると、自然に韓国語も話せるようになり、試験の点数も上がりました。韓国留学に来る前は何の資格も持っていませんでしたが、7 月に TOPIK 5 級、11 月には目標としていた TOPIK 6 級を取得することができました。

留学時、最も親しくなった台湾出身の友人がいます。その友人とは、授業を一緒に受けたりご飯を食べに行ったりしました。留学に行く前は、自分に外国人の友人ができるということを想像できませんでした。また、ほかにもたくさんの国の友人ができました。その友人たちと交流することで、自分が見ていた世界がすごく狭いように感じ、考え方も偏っていたと気づくことができました。さらにこの留学をきっかけに、以前よりもっと外国への関心が強くなり、いろんな国に行ってみたいと思うようになりました。

留学に行ったら良かったと思うことは、自分に自信がついたことです。まず留学の試験に受かったこと、韓国語で授業を聞き、テストを受け、単位を取ったこと。それから、外国で生活をしたこと、資格を取ることができたこと、一人で外国の病院や美容院に行けたこと、など些細なことですが達成できたものが多かったです。ひとつひとつ達成していくことが自分の自信につながり、ポジティブな考え方もできるようになりました。困難も多かったけれど、その分乗り越えたものが多く、自身の成長に大きくなつなつたと思います。

留学に行こうと決めたきっかけはちゃんとしたものではありませんでしたが、この一年間韓国留学をすることができて本当に良かったです。私が生きてきた人生の中で最も挑戦したことが多かった一年でしたし、最も成長できた一年だったと思います。一緒に行った先輩や、留学中に会った友人たち、留学に行かせてくれた両親や、最初から最後までサポートしてくださった国際交流センターの先生方には感謝の気持ちでいっぱいです。これからは、留学で得た知識や経験を生かしてたくさんのことに挑戦していきたいと思っています。



経 費

- ・ 学研災付帯海外留学保険 90,000 円/年
- ・ VISA 申請代金 0 円
- ・ 滞在中の経費（滞在方法： 寮 ）

滞 在 費	110,000 円/セメスター	入居申請料	0 円
食 費	30,000 円/月	水道光熱費	0 円/月
通 学 費	0 円/期		
携帯電話代金	5,000 円/月	インターネット代金	0 円/月
授 業 料	下関市立大学に納付		
履修登録料	0 円/期		
授業を受けるためのその他の費用(教科書代など)		4,000 円/セメスター	

履 修

前 期	語学堂、韓国文化、韓国で出会う世界	合計 4 単位
後 期	教育学、人的資源管理、実用韓国語、基本英語、グローバルビジネス英語、多様性と社会、異文化理解	合計 18 単位

参加した活動 国際交流のサークル、アカペラ

メッセージ

派遣留学して良かったこと

資格が取れて自信につながった。他国の友人ができ、考え方の幅が広がった。

留学を考えている人へのメッセージ

他国で生活をする大変ですが、それ以上に学ぶことが多いです。行くか迷っているなら行きましょう。

派遣留学して不利益だったと感じること

特になし

持って行った方が良いもの

日本のカップラーメン、お菓子
(想像以上に恋しくなります。)





所 属： 経済学部・国際商学科
氏 名： 大谷 真咲
派遣大学： 木浦大学校
派遣国／地域： 韓国／務安市
派遣許可期間： 2024 年 3 月～2025 年 2 月
履 修 期 間： 2024 年 3 月～2024 年 12 月

韓国・木浦大学校での留学生活

2024 年 3 月から約 10 ヶ月間、韓国の務安市に位置する木浦大学校に留学しました。実際に留学が始まってからはやはり言語の壁にぶつかりました。私の場合、最初は特に話すスキルがなく、聞き取りは出来ても会話が続き仲良くなりたいのになれないというもどかしい思いをしたことが何度もありました。しかし、運よく 2024 年度から始まったチューター制度(来年度以降、継続されるかは不明)のおかげでチューターに出会い、交流していく中で少しずつ話すスキルが伸びていきました。特に私のチューターは日本語が出来るにもかかわらず勉強のために基本的に韓国語を使ってくれたり、日本語が全くできない友達を紹介してくれたりなど、語学力を伸ばすうえでとても大きな力になりました。また、勉強や生活面のサポートだけでなく、遊びに行ったりお酒を飲んだり旅行をしたり、数えきれないほどの経験をさせてもらいました。チューター以外にも、授業や学校行事を通してたくさんの人と交流しました。特に韓国は日本に比べて学校行事がとても多く、それらに積極的に参加することを心がけていました。学園祭や MT (Membership Training)、ワークショップ、留学生交流会などたくさんの行事に参加し貴重な体験をさせていただきました。また、学校行事を通して先生や同じ学科の人に顔や名前を覚えてもらえるので留学生にとってもとてもいい文化だと思います。

授業面では、春学期はまだ語学力に自信がなく日本語学科の授業を 2 つと語学堂、秋学期は貿易学科の授業を 4 つ履修しました。春学期は日本語学科の授業とはいえ、もちろんすべて韓国語で行われるので少し大変でしたが、グループワークや課題を通して語学力を鍛えることが出来ました。秋学期からは全て貿易学科の授業だったため一気に難易度が上がり、貿易学科には知り合いもいなかったため予想通りとても大変でした。特にテスト期間中は、内容理解の前に専門用語の勉強や翻訳から始めなければいけないため寝る間も惜しんで勉強しました。大変でしたが友達とカフェや図書館で朝まで徹夜して勉強したことはいい思い出です。また、大変な分これまでないくらい頑張ることが出来たので自信にもつながりました。

語学面以外での成長を振り返ると、留学以前に比べ行動力が身についたと思います。この 10 ヶ月の留学中、楽しいこともたくさんありましたが、銀行口座が差し押さえられたり日本への一時帰国中に急に寮に置いている荷物の撤去命令が来たりなどトラブルもたくさんありました。しかし、その度に自分に何が出来るのか考えて行動しトラブル 1 つ 1 つにしっかり向き合い解決させることが出来ました。これらの困難が自分を成長させてくれるきっかけにもなり、また周りの人と協力することでより絆を深めることも出来ました。また、留学という特別な経験で後悔したくないという思いからたくさんのことに挑戦しました。週末はアルバイトしかしていなかった私が、毎週末誰かと会って勉強をしたり、学校行事に参加したり、行ったことのない場所に行ってみたりと時間を有意義に使うことが出来ました。特に、留学中は常に誰かと共にいる時間が長く、人とのつながりの大切さや楽しさを改めて感じる機会が多かったように思います。この 10 ヶ月で出会った大切な人達との縁をこれからも続けていきたいです。

改めて、木浦大学校での生活は間違いなく私の人生においてとても大きな挑戦であり、忘れられない特別な思い出になりました。実家暮らしの私にとって親元を離れて異国の地で生活するというのは想像以上に大変で、お金の管理から日々の生活まで、日ごろから両親のサポートがあったからこそ不自由なく暮らせていたということを再認識しました。留学生活を通して語学面はもちろん、1 人の人間としても成長できました。これからはこの貴重な経験を基にまずは目の前にある就職活動を頑張りたいと思います。



経 費

- ・ 学研災付帯海外留学保険 86,910 円/年
- ・ VISA 申請代金 0 円
- ・ 滞在中の経費（滞在方法：キャンパス内寮）

滞 在 費	40,000 円/月	入居申請料	0 円
食 費	30,000 円/月	水道光熱費	0 円/月
通 学 費	0 円/期		
携帯電話代金	5,880 円/月	インターネット代金	0 円/月
授 業 料	下関市立大学に納付		
履修登録料	0 円/期		
授業を受けるためのその他の費用(教科書代など)		2,500 円/月	

履 修

前 期	現代日本文化と ICT キャプストンデザイン、日本伝統文化とスマートメディア、語学堂(単位外)	合計 6 単位
後 期	電子貿易、貿易保険論、国際運送論、国際金融論	合計 12 単位

参加した活動 特になし

メッセージ

派遣留学して良かったこと

行動力が身に付き、様々なことに挑戦できたこと。

派遣留学して不利益だったと感じること

就職活動に対する不安が大きかったこと。

留学を考えている人へのメッセージ

大変なことも楽しいこともたくさんあると思いますが、全部含めてとても特別で忘れられない大切な思い出になると思います。ぜひ挑戦してみてください。応援しています。

持って行った方が良いもの

延長コード（日本のものがあるとより便利）、変換プラグ、風邪薬





所 属： 経済学部・国際商学科
氏 名： 田部 ひかり
派遣大学： 木浦大学校
派遣国／地域： 韓国／務安
派遣許可期間： 2024 年 3 月～2025 年 2 月
履 修 期 間： 2024 年 3 月～2024 年 12 月

私の挑戦

私は、大学 3 年生の 3 月から 12 月までの約 10 か月間、韓国の木浦大学校に交換留学をしました。コロナウイルスなどの問題もあり、留学を諦めようとした時もありましたが、この 1 年間の留学生活を通して海外での学生生活に挑戦して本当に良かったと強く感じています。

私が韓国留学に挑戦したいと思うようになったきっかけは、中学生の頃に参加した国際交流のプログラムでした。2 泊 3 日という短い期間ではありましたが、韓国の釜山でホームステイを体験し人生で初めて日本以外の国の文化や環境に触れました。このことをきっかけに韓国語や韓国の文化などに大きく惹かれていきました。

留学をするにあたり、最も不安が大きかったことはやはり語学力でした。韓国旅行には何度か行ったことがあったのですが、留学は旅行とはまた違うものなので、自分の語学の実力がどの程度なのか知るため、TOPIK やハングル検定を 1・2 年生のうちから積極的に受験しました。実際の留学生活では、1 学期の間は日本語学科の講義を受講していたため語学力に関して大きく困ることはありませんでした。また、語学堂に通っていたことで文法や単語などをより深く学習することが出来ました。しかし、2 学期からは貿易学科の授業のみを受講していたため、現地の学生たちと同じペースで貿易について学ぶことにとても苦労しました。特に貿易単語などは日本語でも初めて聞く言葉が多く、新たに学習しなければならないことがたくさんありましたが、友人たちと夜遅くまで一緒に勉強をしたり休憩時間にタッカルビを食べに行ったりと、つらいことばかりではありませんでした。また、韓国の大学は学習環境が整っている場所が多く、試験期間になると図書館が 24 時間開いていたり、深夜まで営業をしているカフェがあったりと、試験勉強の時間帯に融通がきいて、とても学習しやすかったです。

留学生活の中で最も印象的だったことは、学科での様々な活動です。留学が始まったばかりの頃は現地の学生と交流する機会があまりなく、友人がなかなかできずに不安な毎日でした。しかし、春学期が始まり、MT(Membership Training)などのイベントに積極的に参加したことでたくさんの素敵な友人たちに巡り合うことができました。日本にも関心を持ってくれている学生が多く、他国の人々が日本にどのようなイメージを持っているのか、どういった点に興味があるのかなど、実際に現地の友人たちから話を聞くことができ、とても良い経験になったと感じています。また、休日には友人たちが木浦の周辺にある町やソウルや釜山など様々な場所に旅行に連れて行ってくれました。内向的な性格の私でしたが、積極的に声をかけてくれる友人のおかげで私も海外でしか味わう事のできないさまざまな経験をする事ができました。

この留学生活を通して私は挑戦し続けることの大切さを学びました。留学することを最終的なゴールにするのではなく、生活する中でまた新たな目標を見つけ、その目標に向かって努力することは簡単なことではありませんでしたが、これらを達成させたとき、小さな成功の積み重ねは自分の自信に繋がっていくのだということを知ることができました。今後何かに新しく挑戦することを迷う瞬間が来ても、留学を通して学んだたくさんの経験が私の背中を強く押してくれるはずです。たくさんの素敵な思い出と一緒に作ってくれた友人たちや留学を支えてくださった方々への感謝を忘れず、この経験を糧にさらに成長していきたいです。



経 費

- ・ 学研災付帯海外留学保険 86,910 円/年
- ・ VISA 申請代金 0 円
- ・ 滞在中の経費（滞在方法：学生寮）

滞 在 費	40,000 円/月	入居申請料	0 円
食 費	30,000/月	水道光熱費	0 円/月
通 学 費	0 円/期		
携帯電話代金	8,000 円/月	インターネット代金	0 円/月
授 業 料	下関市立大学に納付		
履修登録料	0 円/期		
授業を受けるためのその他の費用(教科書代など)		0 円/月	

履 修

前 期	日本伝統文化とスマートメディア、現代日本文化と ICT キャプストンデザイン	合計 6 単位
後 期	電子貿易、国際運送論、国際金融論、貿易保険論	合計 12 単位

参加した活動 体育大会、MT(Membership Training)、ワークショップ など

メッセージ

派遣留学して良かったこと

現地で沢山の素敵な友人に巡りあえたこと。

留学を考えている人へのメッセージ

人生は 1 度しかないのです、まずは 1 歩踏み出すことが大切だと思います。ぜひ挑戦してみてください。

派遣留学して不利益だったと感じること

4 年生になっても多くの授業を履修しないといけないこと。

持って行った方が良いもの

日本食、現金、風邪薬





所 属： 経済学部・国際商学科
 氏 名： 新田 優月
 派遣大学： 釜山外国語大学
 派遣国／地域： 韓国／釜山
 派遣許可期間： 2024年3月～2025年2月
 履修期間： 2024年3月～2024年12月

人の輪が広がった一年間

留学して得たものはたくさんありますが、その中でも特に人との輪が広がり人間関係が豊かになったことは自分にとって有意義で意味のあることだったと感じます。留学初日、空港で財布を失くしたり寮に到着してから寮内が広くて迷子になりかけたりとトラブル続きでこれからどうなるかと不安になりました。友達もほぼおらず頼れる人もいない状況でしたが、国別の最初の留学生説明会で出会った人と友達になることができ、それから留学終了の時まで交流を続けるほど仲良くなることが出来ました。

まず、タンデムという日本語を学ぶ韓国人の学生たちとペアになって校外学習をする授業でも男女関係なく様々な人と食事をしたり遊びに行ったりしてここでも人の輪が広がりました。タンデムの授業は日本語で話す時間と韓国語で話す時間の両方が設けられており、それぞれの文化を知ることできるし、語学の勉強にもなるので留学に行く人におすすめしたい授業です。

また後期には合唱サークルにも入りました。そこでカンボジア出身の学生やウズベキスタン出身の学生、韓国の学生など様々な国の学生と友人になることができました。国によって宗教や教育の制度など違うことが多くあり、それぞれの国について直接その国の人から話を聞くことができ、よりお互いを理解する気持ちが生まれました。サークルで歌う合唱曲も韓国語のものと英語のものと両方あり、日本語の合唱曲しか歌ったことのなかった私は初めこそ難しいと感じていましたが、何度か活動するうちに楽しめるようになりました。留学が終われば会えなくなってしまう人がほとんどですが、それでもこの一年間は私の人生の中でも大切な期間になったと思います。

これからも人と関わることを恐れずに、人との輪を大切に今後の人生を歩んでいきたいと思っています。



経 費

- ・ 学研災付帯海外留学保険 74,000 円/年
- ・ VISA 申請代金 0 円
- ・ 滞在中の経費（滞在方法：学生寮）

滞 在 費	26,000 円/月	入居申請料	0 円
食 費	35,000 円/月	水道光熱費	滞在費に含まれる
通 学 費	0 円/期		
携帯電話代金	3,000 円/月	インターネット代金	携帯代に含まれる
授 業 料	下関市立大学に納付		
履修登録料	0 円/期		
授業を受けるためのその他の費用(教科書代など)		5,000 円/月	

履 修

前 期	タンデム、大学韓国語Ⅰ、韓国社会の理解、多文化社会の理解、ビジネス英語、ニュースで学ぶKコンテンツ	合計 18 単位
後 期	ビジネス英語会話、多文化タンデム、TOPIKⅡ、韓国文学科映像芸術、韓国ビジネス文化、財務管理	合計 18 単位

参加した活動 サークル活動、公演参加

メッセージ

派遣留学して良かったこと

韓国語を話す力と聞く力が格段に伸びたこと。
多くの人と関わったこと。

派遣留学して不利益だったと感じること

日本食が恋しく感じたこと。授業が思ったよりも取れないこと。バイトを探すのが難しいこと。

留学を考えている人へのメッセージ

行きたいと思ったら取り敢えず挑戦してみしてほしい

持って行った方が良いもの

ふりかけ、お茶漬の元、ハンガー





所 属： 経済学部・国際商学科
氏 名： 前原 未蘭
派遣大学： 釜山外国語大学校
派遣国／地域： 韓国／釜山広域市
派遣許可期間： 2024 年 3 月～2025 年 2 月
履 修 期 間： 2024 年 3 月～2024 年 1 2 月

これまでの人生においてかけがえのない 1 年間

私にとって、韓国留学での日々は、大学 4 年間でかけがえのない最高の経験になりました。

その中でも特に思い出深いのは、シンバラムというチアダンスの活動です。正直、入部当初は本当に大変でした。韓国語もほとんど話せず、韓国のチアダンスのスタイルもまったく分からない状態で、最初は不安なことはいっぱいでした。でも、そんな状況の中でも、諦めずに部員たちとコミュニケーションを取ろうと努力し、日々の練習に全力で取り組んできました。その結果、少しずつ韓国語も上達し、韓国のチアダンスの技術も身につけることができました。何より、一緒に頑張る仲間ができたことが本当に嬉しかったです。最初は、緊張してうまく話せなかった部員たちとの関係も、練習やイベントを通じて深まり、今ではかけがえのない私の大切な友達です。

また、留学した大学が外国語大学だったこともあり、様々な国から来た学生と交流する機会がたくさんありました。授業だけでなく、普段の生活の中でもいろいろな国の文化や価値観に触れることができました。そのおかげで、「まだまだ自分の知らない世界がたくさんあるんだ」と実感しました。特に、国は違っても韓国語という共通の言語を通してコミュニケーションを取ることで、距離がぐっと縮まる瞬間がたくさんありました。そんな経験を通して、言語は単なるツールではなく、人と人をつなぐ大切な架け橋なんだと改めて感じることができました。

さらに、今回の留学では、韓日の給付型奨学金をいただくことができたおかげで、金銭面の心配をあまりせずに多くの貴重な体験をすることができたことも、留学を心から楽しめた大きな要因の 1 つだと考えております。韓国国内の様々な場所を訪れ、現地の文化や伝統に直接触れることができたのは、本当に貴重な経験でした。例えば、韓国の伝統的な市場を巡ったり、韓屋（ハノク）を見に行ったり、地方のお祭りに行ったりと、教科書では学べないリアルな韓国の文化や日常を体感することができました。実際にその場に行き、文化に触れることで、韓国に対する理解がより深まりました。

振り返ってみると、最初は不安や戸惑いもありましたが、それ以上に得られたものが多すぎて、韓国留学を決断して本当に良かったと心から思います。シンバラムの活動を通して学んだ挑戦する大切さ、さまざまな国の学生との交流から得た視野の広がり、そして韓国の文化を直接体験できたこと、すべてが私にとってかけがえのない宝物になりました。この経験を通して、自分の可能性を信じて挑戦し続けることの大切さを学ぶことができたので、今後も様々なことにチャレンジしていきたいです！



経 費

- ・ 学研災付帯海外留学保険 86,910 円/年
- ・ VISA 申請代金 0 円
- ・ 滞在中の経費 (滞在方法：釜山外国語大学の学生寮)

滞 在 費	182,000 円/学期	入居申請料	10,000 円/学期
食 費	20,000/月	水道光熱費	0 円/月
通 学 費	0 円/期		
携帯電話代金	33,000 円/月	インターネット代金	0 円/月
授 業 料	下関市立大学に納付		
履修登録料	0 円/期		
授業を受けるためのその他の費用(教科書代など)		5,000 円程度/学期	

履 修

前 期	①大学韓国語文法練習Ⅰ ②日本語・韓国語タンデム学習Ⅰ ③韓国語と韓国文化 ④インターナショナルビジネス ⑤エレクトロニックコマース	合計 14 単位
後 期	①大学韓国語Ⅰ ②大学韓国語文法練習Ⅱ ③日本語・韓国語タンデム学習Ⅱ ④韓国の武芸テコンドー ⑤タンデムで学ぶ韓日文化Ⅱ ⑥バドミントン	合計 18 単位

参加した活動 シンバラム(チアダンス)、のびのび(韓日交流サークル)

メッセージ

派遣留学して良かったこと

日本での生活では出会えない人たちが、できない経験をたくさんすることができたのは、本当に心から良かったなって思います。

留学を考えている人へのメッセージ

留学してみたい！という気持ちが少しでもあるなら、とにかくやってみたらいいと思います！
留学中、もちろん不安なことや大変なこともあると思いますが、必ず助けて、支えてくれる人がいるはずですよ。なので、迷ったらとりあえず一歩踏み出して欲しいです。

派遣留学して不利益だったと感じること

特に感じたことは無いです。

持って行った方が良いもの

女の子だったら、日本の生理用ナプキンを持参した方がいいと思います。





所 属： 経済学部・国際商学科
氏 名： 北村 優羽
派遣大学： ボアジチ大学
派遣国／地域： トルコ／イスタンブール
派遣許可期間： 2023 年 9 月～2024 年 6 月
履 修 期 間： 2023 年 9 月～2024 年 5 月

トルコ留学を終えて

トルコのイスタンブールにあるボアジチ大学に留学しました。大学はヨーロッパとアジアの境目にあり、下関の関門海峡のような橋をこえるとすぐにアジアサイドに渡ることができます。イスタンブールは歴史が詰まった都市で、いたるところにモスクがあったり歴史的なものが残ったりしています。

留学の最初のきっかけは友達に誘われて国際交流センターに行ったことでした。そこから興味を持ち始め、国際交流センターの皆さんにいろいろ教えていただきながら挑戦することにしました。出発前はあまり実感がなく、楽しみだなという気持ちで出発しました。

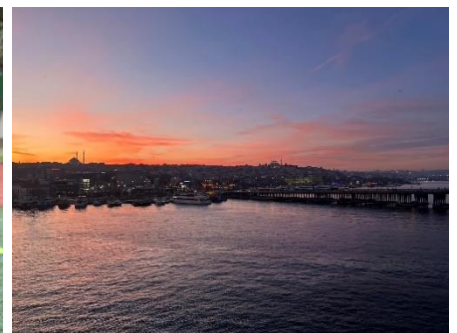
家はトルコ人と日本人の友達と一緒に 3 人でルームシェアをしていました。それぞれに個人の部屋があり、自分だけの時間を確保することができたのは、自分にとって大きかったです。ルームメイトは本当にとても良い人で楽しかったし、たくさん助けてもらいました。帰国の前にはトルコ人のルームメイトの地元にも旅行に行きました。

ボアジチ大学はみんながフレンドリーで、何か困ったことがあるとすぐに助けてくれました。授業は 50 分で、1 つの授業が 1 週間に 3 コマありました。自分の場合、単位交換できそうな授業を取ろうとするとどうしても高いレベルの授業を受ける必要があり、最初のころは英語での経済学の講義に苦戦しました。2 学期目はそのことにも考慮して履修登録を行いました。市大の時と比べて何倍も勉強時間が増えましたが、何もかもが新しい環境での勉強は本当に楽しかったです。

授業以外ではボアジチ大学のサッカークラブに入りました。サッカーは高校で引退して以来、2 年ぶりでした。週に 2～3 回の練習があり、そのうち 1 回はアジアサイドの練習場まで行きました。チームメイトとは練習以外でもいろいろな交流をしました。僕のために日本語を覚えたり、コーチのトルコ語を翻訳してくれたりしました。試合に勝った後のロッカールームは本当にお祭り騒ぎで、最高の気分でした。

1 番大変だったことはイカメットという滞在許可証の取得です。いろいろな書類を揃える必要があり、手間と時間がかかりました。イスタンブールは移民も多いので申請者も多く、また携帯電話やネットなどいろいろな制限もありました。一般の人はみんな英語が話せるわけではないので、早いうちからトルコ語を勉強しておけばよかったなと思いました。

ボアジチ大学での留学生活は本当に良い経験になりました。ボアジチ大学はトルコでもトップの大学なので、その環境で学校生活を送れたことが自分の基準を上げてくれました。いろいろな人に会ったことで、これまで出会うことのできなかった新しい興味や価値観を得ることもできました。この経験が無駄にしないためにも、これからさらに多くのことにチャレンジしていきたいと思います。



経 費

- ・ 学研災付帯海外留学保険 78,860 円/年
- ・ VISA 申請代金 0 円
- ・ 滞在中の経費 (滞在方法：ルームシェア)

滞 在 費	58,000 円/月	入居申請料	0 円
食 費	20,000 円/月	水道光熱費	0 円/月 (家賃込)
通 学 費	8,000 円/期		
携帯電話代金	1,500 円/月	インターネット代金	0 円/月 (家賃込)
授 業 料	下関市立大学に納付		
履修登録料	0 円/期		
授業を受けるためのその他の費用(教科書代など)		トルコ語以外の授業は購入なし	

履 修

前 期	MACROECONOMICS I, MATHEMATICAL STATISTICS I, MONEY, BANKING & FINANCIAL INSTITUTIONS, SOCCER II	合計 10 単位
後 期	FINANCIAL ACCOUNTING FOR ECONOMISTS, ECONOMICS OF INDUSTRIAL ORGANIZATION, BADMINTON II, ELEMENTARY TURKISH FOR FOREIGNERS I	合計 11 単位

参加した活動 大学のサッカークラブやトルコ人と日本人の交流サークルに参加しました。

メッセージ

派遣留学して良かったこと

1 番良かったことは、レベルの高い環境に身を置けたことです。今までの自分の当たり前の基準が変わった気がします。

派遣留学して不利益だったと感じること

単位交換を考えて履修登録をする際に、レベルの高い授業を取る必要があることです。

留学を考えている人へのメッセージ

留学を通して英語力の向上だけでなく、今しかできない経験が多くできました。自由な時間も増えるのでいろいろなことに挑戦してみてください。

持って行った方が良いもの

延長コード、保存できる日本食





所 属： 経済学部・国際商学科
氏 名： 日高 実紅
派遣大学： ルートヴィヒスハーフェン経済大学
派遣国／地域： ドイツ／ルートヴィヒスハーフェン
派遣許可期間： 2023 年 9 月～2024 年 8 月
履 修 期 間： 2023 年 9 月～2024 年 7 月

10 か月間のドイツでの留学を終えて

2023 年 7 月から約 10 か月間ドイツのルートヴィヒスハーフェン経済大学に留学しました。小さいころから英語と海外が好きでいつか留学をしてみたいという漠然とした目標がありました。金銭面や現実的なことを理由になかなか最初の一步が踏み出せずにいたところ、大学の交換留学制度が目にとまりました。ドイツという今や世界でトップ 3 に入る経済大国の視点から経済が学べるという点に大変魅力を感じ、ルートヴィヒスハーフェン経済大学への留学を決めました。

ドイツでの生活の始まりは人に恵まれていたと感じています。当初は日本との時差や、言語の違いなどで精神的に大変でしたが、半年前からドイツに留学をしていたルームメイトの人脈のおかげでドイツ人のホームパーティに招待してもらったり、ドイツ人のバディに友達との遊びに誘ってもらったりなど、人と会って忙しくしているうちに気づけばドイツでの生活に慣れていました。まず、留学が始まって最初に感じたことは他の留学生の英語レベルの高さです。その事実を最初のオリエンテーションで目の当たりにし、一学期目私はとにかく英語を話す機会を増やすことに専念しました。積極的に友達や先生に話しかけたり、長期休暇や週末のすき間時間にはオンライン英会話を利用したりしていました。また、一人の留学生と意気投合したことでその子とよく行動を共にし、日常的に英語を話す機会も増え、約半年後には英語力の向上を感じました。

二学期目では、英語でのプレゼン力を伸ばすことに専念しました。特に良い経験ができたのが「Doing Business in Asia」という授業です。この授業はアジアの国それぞれの経済状況などの経済面だけに限らず、言語やトレンドなどより多面的な視点でアジアについて学ぶことができました。授業内ではそれぞれの好きな言語や、選んだアジアの国の経済に関するプレゼンなど多くの発表の場が設けられました。特に印象に残っているのは、日本語のプレゼンです。日本語を学ぶドイツ人とプレゼンをした際に、日本語についてもう一度一から考え、外国人にとって日本語を勉強するうえでどんな点が難しいのかなど新しい発見があり、面白かったです。元々人の前に立つこと自体が得意でなかったため、二学期目の目標は私にとって挑戦といえるものでした。最初のうちは発表を英語ですするというハードルをとてと高く感じ、なかなか納得がいけない仕上がりでしたが、発表を重ねるうちに少しずつ慣れ最終試験では 15 分間のプレゼンを一人で堂々とすることができました。

学期の合間や、休日を利用し旅行によく行きました。ヨーロッパ留学の良い点は EU 間を電車で往来することができることです。色々な国を訪れ、様々な文化、価値観を持つ人達と関わったことでより広い考え方や価値観を身に付けられました。英語を通して全く違う場所で生まれ育った人と意見交換ができることが、どれだけ魅力的な事なのか旅行を通して感じられました。

この 10 か月間は思っていたよりも短く、語学面はもちろん人としても成長でき、これまで知らなかった世界を見ることができた貴重な時間となりました。留学を実現させてくれた家族や友達、教授には感謝しなければなりません。今後はこの経験を活かし、目標に向けてより一層頑張りたいです。日本を出て異国で暮らすことは不安がつきもので、勇気がいることですが、そこで得られるものは一生ものです。少しでも留学に興味がある方は、まずは話を聞くだけでも行動に移してみてください。一度動き出してしまえば私がそうであったように意外とそのあとの一步は難なくでるものです。皆さんにも留学のすばらしさを体験してもらいたいです。



経 費

- ・ 学研災付帯海外留学保険 95,250 円/年
- ・ VISA 申請代金 17,000 円
- ・ 滞在中の経費（滞在方法：ハウスシェア）

滞 在 費	約 53,000 円/月	入居申請料	約 53,000 円
食 費	約 20,000 円/月	水道光熱費	家賃に込み
通 学 費	約 8,000 円/月（ドイツランドチケット）		
携帯電話代金	約 2,300 円/月	インターネット代金	家賃に込み
授 業 料	下関市立大学に納付		
履修登録料	0 円/期		
授業を受けるためのその他の費用(教科書代など)		0 円/月	

履 修

前 期	Introduction to marketing, Deutsch A1.1, An introduction to Business English, International Management	合計 17 単位
後 期	International Finance and issue the World Economics nowadays, Doing Business in Asia, Germany today	合計 17 単位

参加した活動 なし

メッセージ

派遣留学して良かったこと

色々な国の人たちからたくさんの刺激をもらい新しい価値観を得たうえで、世界をより広い視野で見ることができるようになったこと。

派遣留学して不利益だったと感じること

時差の関係で就活、友達との連絡が難しいこと。

留学を考えている人へのメッセージ

少しでも興味があればとにかく最初の一步を踏み出すべきです！

持って行った方が良いもの

変換プラグ、薬、ふりかけ





所 属： 経済学部・経済学科
氏 名： 野口 啓介
派遣大学： ルートヴィヒスハーフェン経済大学
派遣国／地域： ドイツ／ラインラント・プファルツ州
派遣許可期間： 2023 年 9 月～2024 年 7 月
履 修 期 間： 2023 年 9 月～2024 年 7 月

七転び八起き：

この度の留学経験は、私の人生において忘れられない貴重なものとなり、大学の制度に心から感謝しています。

約 10 か月間の留学を通じて、多くのことを学び、体験することができました。ここでは、学業と私生活の 2 つについて述べたいと思います。

学業について、特に印象に残っているのは、ビジネス現場で必要とされるスキルについて英語でプレゼンをしたことです。初めての英語でのプレゼンということもあり、準備をしたつもりでしたが、緊張で声が震え、スライドの説明をうまくできなかったことに悔しさを感じました。この苦い経験から、マンハイム大学の図書館で予習復習に取り組むようになりました。ドイツでは、学生によるプレゼンが多く、学生自身が評価シートを用いて発表者を評価するなど、日本の授業とは異なる点に驚きました。また、ドイツ語が CEFR で B2 レベル程度あれば、受講できる講義の数も大幅に増え、特に東アジアについて勉強しているドイツ人学生と一緒に学ぶことができます。さらに、大学ではバザーやカラオケ大会、バスツアーなどのイベントも企画されており、友達作りにも役立ちました。

私生活について、私は、本科生として留学を始めたモロッコ人とルームシェアをしました。彼は敬虔なイスラム教徒であり、「配慮」や「気配り」といった日本人特有の性格にも理解があり、ストレスなく生活することができました。彼と生活する中で、ラマダンや 1 日 5 回のお祈りを実際に目にすることができました。また留学生と一緒に餃子パーティーをしたり、冬にはスケートを楽しんだり、クリスマスマーケットにも行き、楽しい時間を過ごすことができました。

しかし、楽しいことばかりではなく、苦勞する場面もありました。大学のカラオケ大会で、ドイツ人と韓国人が日本語で挨拶をしているのを微笑ましく見ていたところ、ドイツ人から「なぜ笑っているの？何が面白いの？」と聞かれ、戸惑い答えられませんでした。異文化理解の難しさを痛感しましたが、今ではそれも良い経験だったと感じています。私以外の日本人留学生は女性で、しかもほとんどが別のアパートに住んでいたため、女子旅やガールズトークに混じることができず、なかなかリフレッシュできずに孤独を感じました。

しかし、留学期間終了間際に食堂で声をかけてくれたドイツ人学生が非常に社交的で、EURO の自宅観戦会や BBQ、遊園地、湖での水泳などに誘ってくれました。初めての長期間にわたる留学では、気の合う仲間を見つけることも重要だと感じました。

また、ドイツはヨーロッパの中心に位置しているため、ヨーロッパ各国を巡るのに最適です。私自身も多くの国を旅行し、アウシュビッツ強制収容所やノイシュタイン城、エッフェル塔など、教科書でしか見たことのない場所を実際に訪れ、貴重な経験することができました。

私も家族に勧められドイツ留学を決めましたが、留学を通じて、語学や異文化交流への価値観が変わり、積極的に行動することの大切さを学びました。この経験を活かして、今後も積極的に新たな挑戦をしていきたいと思います。この文章を読んでいるあなたにも、ぜひ海外留学に挑戦してほしいと思います。異文化との出会いや新たな挑戦が、きっとあなたにかけがえのない経験をもたらしてくれるはずです。



経 費

- ・ 学研災付帯海外留学保険 86,910 円/年
- ・ VISA 申請代金 約 17,000 円
- ・ 滞在中の経費（滞在方法：ルームシェアで滞在）

滞 在 費	100,000 円/月	入居申請料	50,000 円
食 費	40,000 円/月	水道光熱費	家賃に込み
通 学 費	30,000 円/期(定期券)		
携帯電話代金	1,500 円/月	インターネット代金	家賃に込み
授 業 料	下関市立大学に納付		
履修登録料	15,000 円/年		
授業を受けるためのその他の費用(教科書代など)		約 5000 円(前期のみ)	

履 修

前 期	International Finance and issues of the World Economies nowadays, Germany Today: Political economic cultural and historic aspects, English Business Skills, Introduction to Marketing, Deutsch A1.1	合計 9 単位
後 期	Production Planning, Deutsch A1.2,	合計 4 単位

参加した活動

カラオケ大会、ハイデルベルグツアー、シュトゥットガルトツアー、ストラスブールツアー、バレーボールクラブ

メッセージ

派遣留学して良かったこと

多様な文化的背景を持つ留学生と交流していくためには、自分の考えをしっかり持つことが必要だと認識したこと

派遣留学して不利益だったと感じること

特になし。

留学を考えている人へのメッセージ

英語力の向上と留学先の現地語の基礎を習得すること

持って行った方が良いもの

インスタント食品(味噌汁、袋麺)、ふりかけ
国際郵便料金は結構高額なので追加料金が発生してもスーツケースに入るだけ詰めよう



下関市立大学では中国をはじめとする韓国、ベトナム、ドイツなどの国々からやってきた留学生が下関市立大学で修学しています。彼らと共に学び、サークル活動やイベントに参加することで、国際交流や国際理解、異文化理解が深まります。

外国人留学生には 4 年間修学する学部留学生、協定校からの交換留学生、大学院で 2 年間修学する大学院留学生がいます。

外国人留学生のためのサポート

日本語科目

日本語 I	a・b・c・d
日本語 II	a・b・c・d
日本語総合	A・B・C・D
日本事情	A・B
日本文化	A・B

留学生チューター

外国人留学生や特別聴講学生のために学修や生活の支援を行う留学生チューター制度があります。原則として 4 月から活動を開始する留学生チューターは 2 年生以上の学生(大学院 2 年生を含む)の中から学長が委嘱します。9 月から活動を開始する留学生チューターは 1 年生(大学院生を除く)もなることができます。サポート期間は入学後 1 年間です。

留学生チューターは、学修面だけでなく生活面のサポートも行います。留学生と留学生チューターの交流を深める行事もあります。

留学生面談

1 年に 1 回、学部、大学院留学生及び特別聴講学生の個別面談を実施しています。

この面談では、これまでの学修や健康状態、アルバイトの状況、今後の履修や生活の計画、卒業後の進路相談、そして大学への要望等の聞き取りを行っています。留學生活における問題点をより早く解決し、相談や助言を通して教職員と留学生の交流を深めることができます。

学内行事

下関市内探検・防災体験ツアー (9 月)

環境みらい館見学・紙すき体験 (9 月)

留学生面談 (4～5 月、10 月)

※ 10 月は 9 月に来日した特別聴講学生対象

日本文化の神髄を知ろう!! (春・秋学期各 1 回)

日本にしながら世界を知ろう!! (春・秋学期各 1 回)

地域住民との交流

外国人留学生は、様々な形で市民との交流を図り、今や「小さな国際都市・下関」にとって、なくてはならない存在です。外国人留学生の活動は、交流学習への派遣、地域の各種イベント等への参加、ボランティア活動への参加などがあります。

01. 交流学習への留学生の派遣

国際理解教育に取り組んでいる地域の小・中・高等学校の児童や生徒等と触れ合うことにより、留学生の文化や生活習慣などの紹介をしています。また、要請があれば国際交流や国際理解に関心のあるこども園等への派遣にも対応しています。

- ・社会福祉法人三明会豊北きらきらくども園
(7、10、11月)

02. イベント・ボランティア等への参加

外国人留学生は地域での各種イベントに積極的に参加しています。2024年度のイベントは以下のとおりです。

- ・酒蔵祭り(4月・10月) -下関酒造-
- ・しものせき多文化交流サロン(6月・10月・1月) -しものせき国際交流ねっと-
- ・下関市内在住留学生交流会(5月) -下関ロータリークラブ-
- ・中国からのクルーズ客船対応(9月)-下関市港湾局振興課-
- ・野外劇「源平 NIGHT IN 赤間神宮」(10月) -下関市観光政策課-
- ・下関中央ロータリークラブ創立記念例会通訳(11月) -下関中央ロータリークラブ-
- ・下関塾 -下関市国際課-
- ・国際親善パーティー(12月)-下関市ユネスコ協会主催-

※ その他にもたくさんのイベントに参加しています。

日本舞踊さくら会への参加

花柳流師範の花柳英佳和先生による日本舞踊教室が毎週2回開講されています。サークル活動のため受講料は無料です。日本文化を身に付けることができます。

稽古(練習)の成果は、福祉施設への訪問や10月の大学祭で披露しています。

留学体験レポート

協定校 下関市立大学



氏 名 張 琬君

所属大学 青島大学（中国）

留学期間 2024 年 9 月～2025 年 2 月

半年間の留学生活は本当に短かったですが、忘れられない時間でした。先生とチューターがとても優しくて、大変助けられました。来たばかりの頃、言葉の壁を強く感じました。会話の中で理解や返答に時間がかかることがありました。最初は大変でも、慣れていく中で自分の成長を実感できました。国内で日本語を学ぶ時、単語を覚えたり文法を暗記したりしていました。会話力を向上させるには、やはり日本に留学するのが一番だと感じました。

日本の文化はとても豊かであることを実感しました。日本語の授業では、たくさんの新しい日本文化について学びました。例えば、日本語のことわざや昔話、日本の茶道、舞踊、日本庭園などについてです。茶道や舞踊文化などを体験することもできました。これらを通じて、日本文化への理解がさらに深まりました。

時間がある時には、他の観光地にも旅行に行きました。さまざまな都市の異なる雰囲気を感じることができました。日本各地にはそれぞれ独自の魅力があり、どこに行っても新しい発見がありました。

半年間の留学生活は本当に楽しかったです。日本に留学したことで、多くの外国人の友達ができ、日本についてより深く理解することができ、自分の人生経験も豊かになったと感じています。

留学してよかったことは？

日本に留学した後、日本語の能力が向上し、さまざまな自然な日本語表現を身につけました。
また、外国人の友達ができただけでなく、良かったと思います。

下関市立大学で履修した科目は？

日本語Ⅱd 日本文化B 日本語Ⅰc 日本事情B
日本語Ⅱc 日本語総合D 日本語Ⅰd スポーツ実践

留学中大変だったことは？

言葉の壁が大変だったことです。会話の中で理解や返答に時間がかかることがありました。
最初は大変でも、慣れていく中で成長を感じることができました。

これから下関市立大学に留学する留学生へのアドバイスは？

留学する際には、新しいことに挑戦した方がいいです。スポーツの授業で、新しい興味を見つけ、バドミントンが好きになりました。

留学中経験した方がいいことは？

多くの文化交流イベントに参加し、近くの観光地を旅行した方がいいと思います。

下関市立大学の学生に一言！

留学生活は本当に楽しかったです。大変お世話になりました。





氏 名 劉 越

所属大学 青島大学（中国）

留学期間 2024 年 9 月～2025 年 2 月

日本に留学してから、多くの新しい出会いと驚きがあり、本当に充実した生活を送りました。

まず、日本の教育システムには深く感銘を受けました。授業では、教師は学生の積極的な参加を重視し、討論やグループプロジェクトが多く行われます。これにより、自分の考えを明確に述べ、他人の意見を尊重しながら学ぶ機会が増え、思考力やコミュニケーション能力が向上しました。

また、図書館や研究施設も充実しており、学ぶ環境が整っています。キャンパス内にジムがあるのは、とても魅力的なポイントです。私は普段から運動する習慣があり、よくジムに行ってトレーニングをしています。だから留学中も病気をすることなく、健康でした。

次に、日本の文化に触れることができ、大きな収穫になりました。祭りや行事に参加することで、日本の伝統文化の魅力を感じることができました。日本の庭園を見学して、日本の茶道と舞踊文化、そして和室のマナーを知りました。日常生活でも、礼儀正しい日本人の行動や美しい言葉遣いに感化され、自分自身もより丁寧に周りの人と接するようになりました。

生活面では、最初は言語や習慣の違いに少し戸惑うこともありましたが、先生とクラスメートの温厚で親切な性格のおかげで、だんだん適応することができました。同級生や先生との交流を通じて、日本の生活や社会の側面も知ることができ、異文化理解が深まりました。

留学は、私にとって人生で重要な体験となりました。新しい知識を得るだけでなく、自己成長や異文化理解の機会となっています。この留学体験は、私の人生にとって貴重な財産になると確信しています。

留学してよかったことは？

親切な先生とクラスメートと知り合い、日本人の友達がたくさんできました。日本のおいしい食べ物をたくさん食べました。日本文化についてもっと深く理解しました。日本語のレベルも向上しました。

下関市立大学で履修した科目は？

日本語Ⅱd、日本文化 B、スポーツ実践、日本語Ⅰc、日本事情B、日本語Ⅱc、日本語総合D、日本語Ⅰd

留学中大変だったことは？

授業中、先生の質問に答えたいと思うことがあっても、自分の文法や発音に間違いがあるのではないかと心配で、先生やクラスメートと積極的に交流することが難しかったです。

これから下関市立大学に留学する留学生へのアドバイスは？

積極的に先生やクラスメートと交流する。日本の行事に多く参加する。機会があればいろいろな場所を旅行する。

留学中経験した方がいいことは？

一番よかったことは、異なる国から来た同級生と知り合ったことです。私は異なる国の人が集まって交流できることはとても素晴らしいことだと思います。私たちは同級生というだけでなく友達です。

下関市立大学の学生に一言！

君はなりたい姿になれる。





氏 名 尹 中昊

所属大学 青島大学（中国）

留学期間 2024 年 9 月～2025 年 2 月

下関市立大学に留学することができて幸運でした。今回の留学は私にとって一番気楽な半年でした。日本での毎日はとても自由で、先生もクラスメートもとてもいい人たちで、とても助けられました。

半年間という短い時間でしたが、たくさんのことを学びました。日本人の友達もできましたし、学校の活動にも参加しました。たくさんのことが初めての体験で、とても楽しかったです。

この交換留学をきっかけに、リアルな日本を見ることができました。異文化の違いを痛感しました。日本のすべてが私にとって新鮮でした。残念ながら半年間はとても短すぎると思います。

今回は初めての海外旅行で、一番印象に残ったのは元旦の東京旅行です。東京の賑やかさは私をとて驚かせました。また、東京の地下鉄の混雑はとても大変でした。

もうすぐ母国に帰りますが、私は心から日本が好きになりました。皆さんの半年間の助けに感謝しています。もしこれから機会があれば、日本で進学したり、仕事したりしたいです。

留学してよかったことは？

この留学をきっかけに、初めての海外旅行に行ったり、たくさんの新しい友達と出会ったり、今までとは全く違う人生を経験したりと、毎日が素晴らしいと感じています。

下関市立大学で履修した科目は？

市大ではどの授業もすばしかったです。その中で私が一番好きなのはスポーツ実践です。中国のスポーツ実践とは全然違います。みんなはすごく元気です。

留学中大変だったことは？

中国人として、最初に不便を感じたのは日本のゴミ分別です。これは日本に来たばかりの頃、私が一番悩んだことです。それから、外出です。日本人は遠くなく歩いて行く距離は、私には遠く感じて少し疲れました。

これから下関市立大学に留学する留学生へのアドバイスは？

学校の前の牛カルビ寿司はおいしいと思います。機会があれば、ぜひ食べてみてください。

留学中経験した方がいいことは？

実際に日本生活を体験するために、留学中は様々な活動に参加したほうがいいと思います。学校外の活動もいいですね。

下関市立大学の学生に一言！

楽しい半年でした。ありがとうございました。





氏 名 張 蕾

所属大学 青島大学（中国）

留学期間 2024 年 9 月～2025 年 2 月

日本での生活は、中国とは大きく異なるものでした。最初は独り暮らしに慣れず、食事にも困りましたが、徐々に慣れてきました。日本の食文化は豊富で、寿司やラーメン、天ぷらなど美味しいものがたくさんあります。特にオムライスが大好きになりました。学校の食堂も気に入りましたし、下校後は友達と一緒に食事をするのも楽しみでした。

日本の先生たちはとても優しく、丁寧に教えてくれました。日本語を学ぶだけでなく、礼状の書き方や論文のフォーマット、発表の仕方など、たくさん学ぶことができました。学校では文化交流イベントも多く、多文化カフェなどに参加して、日本の文化や他国の文化を学ぶことができました。茶道や舞踊、日本庭園の建設などについても学ぶことができ、日本の文化や現状をより深く理解することができました。

異なる国の友達もたくさんできました。同じく留学しているクラスメイトたちはもちろん、他の授業で日本の友達もできました。彼らの親切さには感動しました。最初は学校が留学生チューターの担当を決めてくれて、とても助かりました。彼らのおかげで、私は日本の生活に早く慣れることができました。

日本の留学期間中、貴重な経験と知識をたくさん得ることができました。これらの経験は、今後の勉強や生活に大きな影響を与えるでしょう。学校や先生が提供してくれた素晴らしい勉強と生活環境に感謝します。これからも努力を続け、両国の交流の架け橋となるために頑張ります。

留学してよかったことは？

留学を通じて、私の話し言葉の能力を向上させることができました。そして自律して考え、問題を解決する方法を学び、自分の生活の自己管理能力を高めることができました。

下関市立大学で履修した科目は？

ほとんど日本語についての授業です。それ以外はスポーツ実践が面白かったです。

留学中大変だったことは？

最初は日本語があまり上手ではなく、他人とのコミュニケーションが難しかったです。また、自分で料理することができなかったのも、とても困りました。これらのことはもうなくなりました。

これから下関市立大学に留学する留学生へのアドバイスは？

まず、基礎的な日本語を勉強することが必要です。そして、留学を始めたばかりの頃は、母国の調味料を持っていくことをお勧めします。最後に、ゴミ分別を事前に学ぶ必要があります。

留学中経験した方がいいことは？

日本でアルバイトをしてみることが、自分の日本語の話し言葉の能力を急速に向上させるのに良いと思います。

下関市立大学の学生に一言！

半年間の同窓生となれて嬉しかったです。皆さんの優しさと温かさを感じました。本当にありがとうございました！





氏 名 ニクラス ユリウス

所属大学 ルートヴィヒスハーフェン経済大学（ドイツ）

留学期間 2023 年 9 月～2024 年 8 月

私は留学する前に何回か日本に来たことがありましたが、山口県と周りの県にはまだ行ったことがなかったので、私がまだ知らない日本の一面を見られるというのをすごく楽しみにしていました。

大学生活

ドイツの本大学では本館とキャンパスから離れている別館で授業を受けていて、本物の大学生活はあまり味わえなかったので、下関市立大学でそれを経験できて、とても嬉しかったです。授業の進め方もドイツとは少し違って、全部が新鮮で興味深かったです。

しかしやはり一番楽しかったのは留学の醍醐味である異文化交流です。お互いの文化を学び、現在日本と世界で起こっている出来事について話すことで違う見方や意見に気づき、人として成長するという経験は何度繰り返しても価値があるので、多くの人に体験してほしいです。

下関での生活

下関は海が近いので、店を出ている魚は新鮮でとても美味しいです。特に唐戸市場での寿司は人生の中で食べてきた寿司で一番おいしかったです。それ以外にも私はジムでアルバイトをしたり、友達と遊んだりして、充実した留学生活を送ることができました。

留学してよかったことは？

挑戦したかったことに全部挑戦できたことです。

下関市立大学で履修した科目は？

流通政策、消費者法、経済原論Ⅰ、経済原論Ⅱ、会社法、金融商品取引法、国際関係論、原価計算論、貿易実務、経営管理論、コンピューター活用、コミュニケーション心理学、アントレプレナーシップ、日本語 d, 日本事情 a, 日本事情 b, 日本語実習 f, 日本語 c

留学中大変だったことは？

経済系の授業、アルバイト

これから下関市立大学に留学する留学生へのアドバイスは？

旅行をしたり、サークルに入ったり、アルバイトをしたり、友達をたくさん作ったりして、とにかく色々なことにチャレンジしてほしいです。それにはかなり勇気が必要だと思いますが、積極的に行動をしないと何も変わらないまま留学があったという間に終わってしまい、その先には後悔しか残らないと思います。

留学中経験した方がいいことは？

旅行、アルバイト、異文化交流

下関市立大学の学生に一言！

誠意をもって声をかけられて嬉しくない留学生はいないと思うので、留学生と仲良くなりたい人は積極的に声をかけてみてください。





氏 名 ルライ ユリア

所属大学 ルートヴィヒスハーフェン経済大学（ドイツ）

留学期間 2023 年 9 月～2024 年 8 月

私は下関市立大学で一年間留学しました。日本に来た最初の頃、日本語があまり上手ではなかったです。最初は文化の違いや言語に慣れるのが大変でした。初めての一人暮らしでもありました。自分の日本語能力のせいで、簡単ではありませんでした。役所や銀行への提出書類を手伝ってくれたチューターにはとても感謝しています。

多文化カフェのような様々なイベントを通して、自分の国の文化を他の学生と共有することができ、楽しかったです。下関で友達と遊んだり、一緒に旅行したりするのはとても楽しかったです。アルバイトもしていました。毎週、日本人の家庭に行き、子供たちと遊んでいました。一緒においしいものを食べたり、散歩に行ったりしました。

学期の休み中は、韓国、東京、富士山、そして京都など、たくさん旅行しました。新しい経験をしたい人には、絶対に留学をおすすめしたいです。

留学してよかったことは？

新しい経験がたくさんできたり、友達もできました。友達と一緒に料理をしたり、ゲームをしたり、カラオケに行ったりするのは楽しかったです。日本人の友達のおかげで、日本語がもっと理解できるようになりました。着物を着たり、書道に挑戦したり、温泉に入ったりと、伝統的な体験もできました。

留学中大変だったことは？

特に最初の頃は、日本語を理解することが私にとって大きなチャレンジでした。授業で作文を書くのはとても難しかったです。日本に来るまでは、日本語で発表したことがなかったので、自由に話すことが難しかったです。言語や文化の違いから、最初は友人を作るのが難しかったです。

留学中経験した方がいいことは？

文化の違いを体験するのは面白かったです。留学のおかげで日本語が話せるようになりました。

下関市立大学で履修した科目は？

秋学期：日本語事情 B、日本語総合 C、日本文化 B、日本語 Ic、日本語 Id、日本語実習 f、コンピューター活用 I、日本語実習 e
春学期：日本文化 A、日本語 Ia、日本語事情 A、日本語 IIa、会社法 I、日本語総合 B、フランス語、日本語 Ib

これから下関市立大学に留学する留学生へのアドバイスは？

サークルに入ることをおすすめしたいです。選択肢はとても広いし、同じことに興味を持つ大学生と知り合ういい機会だと思います。

下関市立大学の学生に一言！

私の留學生活を楽しみ経験してくれた皆に感謝しています。





氏 名 余 瑄 瑩

所属大学 銘傳大学（台湾）

留学期間 2023 年 9 月～2024 年 8 月

この 1 年間、私は台湾でできなかったことをたくさん経験しました。それは初めてのアルバイト、初めての一人暮らし、初めての新幹線や飛行機で日本各地を旅行することなどです。授業の時も台湾で習ったことがないことが多かったです。下関市立大学の先生と学生は皆とても親切で、フレンドリーで、私たちが来るのをとても歓迎してくれ、ここでもたくさんの世界各国の友達ことができました。いい思い出もたくさんできました。

日本にいる間、いろんな人に出会いました。私たちに親切に挨拶してくれたおばあさん、温かく迎えてくれたお好み焼き屋さん、観光地をおすすめしてくれたタクシーの運転手、私たちが着物を着たらきれいといってくれた店員さん、このような出会いに日本人の親しみと暖かさを感じました。

このほかにも、日本の四季を自分の目で見て、台湾とは異なる景色を実感しました。暑い夏にチューターさんたちと一緒にかき氷を食べて、新しくできた韓国と中国の友達と一緒に萩市の秋の景色と温泉を楽しんで、前日の夜道に積もった真っ白な雪を踏んで学校に行き、アルバイトが終わった後、公園を通して満開の桜の写真を撮りました。これらはとても大切な思い出です。

下関に留学できて本当に良かったです。日本での一年で得られたものは本当に多いです。自立できるようになったのも、人々とのコミュニケーションスキルを身につけられたのも、とても貴重な経験です。

留学してよかったことは？

たくさんの国から来た友達ができ、みんなで一緒に勉強したり、旅行に行ったり、ご飯を食べたり、カラオケに行ったり、楽しい思い出をたくさん作った。

下関市立大学で履修した科目は？

日本語作文、日本語発表、日本文化、日本語読解/聴解、商業英語、英語会話、韓国語、フランス語。

留学中大変だったことは？

私は比較的内向的で日本語もあまり上手ではないので、日本人とコミュニケーションをする際に言葉に詰まってしまうことも多く、相手に迷惑をかけてしまわないか心配だった。

これから下関市立大学に留学する留学生へのアドバイスは？

国際交流センターや WSK の活動に積極的に参加した。先生やクラスメートは親切で、様々な国からの留学生と交流することができ、活動の内容もとても面白い。これから下関市立大学に留学する留学生はぜひ参加してください。

留学中経験した方がいいことは？

アルバイトをしたほうがいいと思う。学んだ日本語を練習したり、現地の人々と直接コミュニケーションをとり、会話の練習をしながら経験を積み、たくさんの新しい友達を作ることができる。

下関市立大学の学生に一言！

今年留生活動に参加しに来てくれた学生の皆さん、本当にありがとうございました。皆さんと知り合うことができて本当に嬉しかった。そして、チューターのみんなには大変お世話になり、この一年も順調に留学することができました。本当にありがとうございました。





氏 名 林 芝萱

所属大学 銘傳大学（台湾）

留学期間 2023 年 9 月～2024 年 8 月

留学生活はとても豊かで充実したもので、あっという間の 1 年でした。今年はたくさんのことを見て、学び、視野を広げ、さまざまな国の面白い友達に出会えたことは、きっと大切な思い出になるでしょう。

留学するかどうかを迷っていた私に勇気を与えてくれた友達に感謝しています。その友達から「留学は滅多にないチャンスで、まだ若いし何も心配することはないから、安心して自分のやりたいことに取り組めるよ」と言われ、彼女の言葉が私に海外に行って世界を見てみようと思えました。

留学のおかげで私の言語力は大幅に上達し、学校で学んだ日本語の会話を日常生活で使うことができました。皆さんも気長に話を聞いてくれて、とても感謝しています。ここでは言語を学ぶだけでなく、先生方も学生同士の交流活動をたくさん企画してくれ、その活動に参加することでたくさんの友達ができ、一緒に食事をしたり旅行に行ったりすることができてとても幸せな時間でした。

チューターさんも、学業やアルバイトでどんなに忙しくても、いつも時間を割いて母親のように私を気遣ってくれます。今では私たちは仲がいい友達のように、一緒に遊んだり、食事をしたり、お互いの言語の先生になったりしています。これが最高の友達の状態だと思います。

この一年間は自分にとって悔いを残さず、とても充実した幸せな時間を過ごすことができた、人生の中で宝物のような一年でした。

留学してよかったことは？

毎日日本語を聞いたり使ったりするので、日本語の学習はとても早く進み、知らず知らずのうちに日本語レベルが向上しました。また、周りは日本人ばかりなので、わからないことがあればすぐに質問でき、みんな熱心にサポートしてくれます。そして、さまざまな国の人々と出会い、お互いの文化を知り、一緒に食事をしたり旅行に行ったりしたことは、留学の大切な思い出になりました。

留学中大変だったことは？

特にないと思います。強いて言うなら、私が住んでいる場所は学校から少し離れていて、下関市の交通はあまり便利ではないから、学校に行くのに時間がかかります。また、下関は海に近いので、風が強すぎて傘が破損することがあるので、頻りに傘を購入する必要があります。ちょっと大変だと思うのはここら辺かな！

留学中経験した方がいいことは？

下関酒造のアルバイトが一番おすすめです。ここで日本の職人気質を見て、お祭りの活気を感じました。アルバイトではありませんでしたが、とても楽しかったです。

下関市立大学で履修した科目は？

日本語の授業、韓国語初級、商業英語

これから下関市立大学に留学する留学生へのアドバイスは？

多くのイベントに参加すると、友達が増えるだけでなく、留学生活がより充実したものになると思います。

下関市立大学の学生に一言！

皆さんにお会いできてとても嬉しかったです。またいつかお会いできることを願っています。





氏 名 チェ ミンギョ

所属大学 釜山外国語大学（韓国）

留学期間 2024 年 4 月～2025 年 2 月

私は 2024 年の春から 1 年間、日本に交換学生として留学しました。初めての一人暮らしで、しかも異国での生活であったため、初めは心配と不安感でいっぱいでした。でも、その課題を越えることで、大きく成長できたと思います。

春からの交換学生が自分だけだったことは、最初の大きな難しさでした。しかし、日本語で会話するという目的もあり、日本のチューター制度は大きな支援となりました。各種手続きの説明から、個人的な疑問にこたえるサポートまで、この制度の誠実さに感謝しました。そして、いろいろなイベントに参加していくにつれ、たくさんの友人もできました。日本の学生だけでなく、教授や職員の方からも多くの励ましをいただき、安心して新しい環境に慣れることができました。

また、短期アルバイトや国際交流センターの実施する「日本遺産めぐりツアー」などの地元に関係する活動にも参加しました。その中で日本語を用いてお客様に対応したことは、言語力の向上に大きな影響を与え、貴重な体験となりました。さらに、防府市でのツアープログラムに参加したことで、山口県の他の地域についても深く学ぶことができ、地域文化に触れる絶好の機会となりました。

留学中には、さまざまな国の交換学生とも交流する機会がありました。中国、ドイツ、台湾など、多様な文化背景を持つ学生たちとの会話や共同活動を通じて、視野を広げることができました。特に、日本語を共通言語として他国の留学生と意見を交換できたことは、自分の成長を実感できる瞬間でした。

本国に帰国した後は、日本での経験を自分の中に混ぜて、今後のプロジェクトや目標にその力を生かしていきたいです。日本で培った経験や学びは、未来を開く大切な能力として、これからも私を支えてくれると信じています。そして、将来また日本を訪れる機会があれば、さらに深い理解を得たいと思います。

留学してよかったことは？

日本人と交流しながら、日本語が上達し、自分が経験したこともないところで 1 年間過ごすことで世界を見る視野を広げることができた。

下関市立大学で履修した科目は？

日本語の授業、倫理

留学中大変だったことは？

特にありません

これから下関市立大学に留学する留学生へのアドバイスは？

今までよりもっと積極的に活動に参加し、いろいろなところに行ってみよう。

留学中経験した方がいいことは？

様々な活動に参加しながら、いろいろなところに行ったり、体験したりしながら視野を広げるのが大事だと思う。また、わからないことがあれば、国際交流センターやチューターさんに早めに聞いた方がいいと思う。

下関市立大学の学生に一言！

1 年間お世話になりました。



INPaCS

Intercultural Nexus Program at Campus of SCU

01 交流プログラム

-多文化カフェ

02 異文化理解プログラム

- 日本にいながら世界を知ろう！！
- 日本文化の神髄を知ろう！！
- 留学体験発表会
- グローバルミッションプログラム成果発表会
- グローバルキャリアの道

01 交流プログラム

多文化カフェ

留学生がファシリテーターを務める多文化交流イベントです。ゲームをしたり、共通のテーマで話したり、様々な国の留学生と会話し交流する会です。ドイツ、中国、台湾、韓国の留学生と交流する会を定期的に行っています。

02 異文化理解プログラム

日本にしながら世界を知ろう!!

下関市立大学の学生や地域の方々に、世界中で起きていることや暮らしの様子、歴史的な事柄などを知ってもらうことを目的に様々な国の方や、その国で暮らしたことのある方々にお話をさせていただく企画です。

〈第1回〉 Imperfect Opportunities- The Value of Flexibility -

和訳：不完全なチャンスー 柔軟性の価値 ー

ガリッド ベンジャミン准教授(下関市立大学)による、母国アメリカから韓国に渡り、韓国でも学び、研究し、教鞭をとられていた経験を通して「チャンス」をテーマに英語による講演をしていただきました。

日本文化の神髄を知ろう!!

留学生を含む本学の学生全員に日本文化への興味を喚起し、理解してもらうことを目的に実施しています。

〈第1回〉 豪華！日本遺産めぐりツアー

文化庁の日本遺産に認定されている関門"ノスタルジック"海峡の構成、文化財を巡り、下関と北九州の歴史を学び、関門海峡ならではの移動手段を利用して散策しました。

〈第2回〉 バスツアー1Day Trip 柳井散策と防府天満宮参拝

山口県柳井市の白壁の町並みを散策し、金魚ちょうちん製作体験をした後に、防府天満宮を参拝しました。

留学体験発表会

留学体験者から話を聞くことで、留学経験について考えてもらうことを目的に実施しています。

春学期に8名(4回)、秋学期に9名(5回)合計17名の派遣留学を終え帰国した学生に体験発表をしていただきました。春学期は、東義大学校・木浦大学校・釜山外国語大学校(韓国)、グリフィス大学(オーストラリア)と青島大学(中国)に留学した学生、秋学期には北京大学・青島大学(中国)、ボアジチ大学(トルコ)、ルートヴィヒスハーフェン経済大学(ドイツ)、そしてグリフィス大学附属英語学校(オーストラリア)に留学した学生に発表してもらいました。

グローバルミッションプログラム成果発表会

派遣留学開始にテーマを決めて準備し、留学期間中に調査・研究した成果を帰国後にまとめ発表してもらうために実施しています。

グローバルキャリアの道

在学中のみなさんに、国際感覚や就職活動について具体的に考える機会を提供することを目的に実施しています。

トルコや韓国に留学し、国際インターンシップや PBL に参加した先輩 3 名、国際 NPO・NGO プログラムで世界一周をした先輩 1 名、ニュージーランドに私費留学した後、国際インターンシップや PBL、海外ボランティアに参加した先輩 1 名の 5 名の先輩たちに、在学中に国際体験を通して学んだことが、社会でどのように役に立っているか、そして社会人として活躍している今だからこそ後輩へ伝えたいことについて講演していただきました。

》》2024 年度報告

在籍留学生数

5月1日現在

2024年度	学部 1 年		学部 2 年		学部 3 年		学部 4 年		大学院 1 年		大学院 2 年		特別聴講学生		合 計	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女		
中 国	7	3	3	2	1	1	2		2	1	1	1			24	
台 湾														2	2	
韓 国	3				3	1	7	2					1		17	
ベトナム					3		1	1							5	
ド イ ツ													1	1	2	
トルコ															0	
小 計	10	3	3	2	7	2	10	3	2	1	1	1	2	3	合計50人	
合 計	13人		5人		9人		13人		3人		2人		5人			
	40 人								5 人							

2023年度	学部 1 年		学部 2 年		学部 3 年		学部 4 年		大学院 1 年		大学院 2 年		特別聴講学生		合 計
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
中 国	3	2	1	1	2		2	2	1	1		1			16
台 湾															0
韓 国			3	1			9	4					4	1	22
ベトナム			3		1	1									5
ド イ ツ													1	1	2
トルコ															0
小 計	3	2	7	2	3	1	11	6	1	1	0	1	5	2	合計45人
合 計	5人		9人		4人		17人		2人		1人		7人		
	35 人								3 人						

2022年度	学部 1 年		学部 2 年		学部 3 年		学部 4 年		大学院 1 年		大学院 2 年		特別聴講学生		合 計
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
中 国	1	1	2		1	2	9	1		1		2			20
台 湾															0
韓 国	3	1			5	4	4								21
ベトナム	3		1	1			3								8
ド イ ツ															
トルコ															
小 計	7	2	3	1	6	6	16	2	0	1	0	2	0	0	合計49人
合 計	9人		4人		12人		18人		1人		2人		4人		
	43人								3人						

2021年度	学部 1 年		学部 2 年		学部 3 年		学部 4 年		大学院 1 年		大学院 2 年		特別聴講学生		合 計	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女		
中 国	2		1	2	6	1	7	3		2		3			27	
台 湾															0	
韓 国			5	4	4		1								14	
ベトナム	1	1			3										5	
マレーシア								1							1	
パキスタン							1								1	
ド イ ツ															0	
ト ル コ															0	
小 計	3	1	6	6	13	1	9	4	0	2	0	3			合計48人	
合 計	4人		12人		14人		13人		2人		3人		0人			
	43人								5人							

2020年度	学部 1 年		学部 2 年		学部 3 年		学部 4 年		大学院 1 年		大学院 2 年		特別聴講学生		合 計
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
中 国	1	2	6	1	6	3	3	4		3		3		4	36
台 湾													1	1	2
韓 国	5	4	4		1		2								16
ベトナム			3					2							5
マレーシア						1									1
パキスタン					1										1
ド イ ツ													2		2
トルコ													1		1
小 計	6	6	13	1	8	4	5	6	0	3	0	3	4	5	合計64人
合 計	12人		14人		12人		11人		3人		3人		9人		
	49人								6人						

海外留学等の体験者数

年 度		2019	2020	2021	2022	2023	2024
外国研修	英 語	17	－	－	－	12	10
	中国語	27	－	－	－	－	16
	韓国語	28	－	－	－	18	15
	小 計	72	－	－	－	30	41
派遣留学	北京大学	－	－	－	1	2	2
	青島大学	1	－	－	－	2	1
	銘傳大学	3	－	－	2	1	1
	東義大学校	－	1	1	2	2	2
	木浦大学校	－	－	1	2	2	2
	釜山外国語大学校	2	2	2	2	2	2
	又松大学校	－	－	－	－	－	1
	C ロス・メダノス・カレッジ	－	－	－	－	－	－
	C ディアブロ・バレー・カレッジ	2	－	－	－	－	－
	C コントラ・コスタ・カレッジ	－	－	－	－	－	－
	D アルゴマ大学	3	－	－	2	－	－
	ボアジチ大学	2	－	－	1	2	2
	ルートヴィヒスハーフェン経済大学	2	－	－	4	2	2
	グリフィス大学	3	－	1	1	1	－
	小 計	18	3	5	17	16	15
国際インターンシップ	青島市(中国)	2	－	－	－	－	
	大連市(中国)	－	－	－	－	－	
	釜山広域市(韓国)	2	－	－	－	1	3
	シンガポール	10	－	－	－	8	4
	小 計	14	－	－	－	9	7
その他研修等		16	－	－	－	－	－
私費留学	中国語圏		－	－	－	－	－
	韓国語圏	1	－	－	－	－	－
	英 語 圏	5	－	－	－	9	2
	そ の 他		－	－	－	－	
	小 計	6	－	－	－	9	2
合 計		126 人	3 人	5 人	17 人	64 人	65 人
年 度		2019	2020	2021	2022	2023	2024

この表は、派遣留学、単位認定を伴う科目での海外経験、外国研修や PBL 等の参加者、及び留学目的の休学を認められた私費留学の体験者数です。長期休暇中の海外旅行等は含んでいません。

※2020、2021 年度は、新型コロナウイルス感染症の影響のため派遣留学等が延期又は辞退となっています。

海峡の英知。未来へ そして世界へ。

The wisdom of the Straits. To the future and to the world.

発 行 : 2025 年 3 月

編 集 : 下関市立大学 国際交流センター

連絡先 : 〒751-8510 山口県下関市大学町二丁目 1 番 1 号

電話 (083) 254-8693

FAX (083) 252-8099

URL <http://www.shimonoseki-cu.ac.jp/kkc/>